

事業成果物

1. 博物館施設の運用保守管理

(1) 船の科学館施設の運用保守管理

- ① 本館設備維持管理日報（写） 抜粋
- ② 本館受電日誌（写） 抜粋
- ③ 水質検査報告（写） 抜粋
- ④ 本館受水槽清掃報告、作業写真（写） 抜粋

(2) 昇降機保守点検

- ① 本館エレベーター
 - a. メンテナンスレポート（写） 抜粋
 - b. エレベーター検査報告書（写） 抜粋

(3) 消防設備点検

- ① 消防用設備等点検結果報告書（写） 抜粋

(4) 電話交換機保守点検

- ① 電話交換機保守点検表（写） 抜粋

(5) 受変電設備点検

- ① 本館関係法定点検
 - a. 船の科学館受変電設備（特高压部）定期点検報告書（写）
 - b. 船の科学館受変電設備（低压部）定期点検報告書（写）

設備維持管理日報

平成 29年 5月 8日 月曜日

天候 晴 気温 25 °C 湿度 47 %

担当	所長	課長

勤務者	勤務名 氏名	責任者	宿直責任者 陶山	日勤者(夕食残)	日勤者	日勤者	日勤者
-----	-----------	-----	-------------	----------	-----	-----	-----

定例業務

本日 休館日

- 排水桝・ルーフドレン点検 異常なし (9:00)
- 午前巡回点検 異常なし (11:30)
- 午後巡回点検 異常なし (15:30)

その他・特記事項

- (株)日立ビルシステム来館 エレベーター定期点検 (10:20)

* シーズンオフ回流プール濾過運転 (9:00~翌 7:00)

運転・監視業務	機器名	電力機器	動力機器	屋外壁面灯	航空障害灯	備考	
	運転時間	----	9:00	----	18:35		
	停止時間	----	翌 7:00	----	翌 4:45		
	異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
	機器名	火災受信機	ガス漏れ警報器	電気時計	ビルコン		非常放送機器
	異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		有・ <input checked="" type="radio"/> 無

巡視	設備名	受変電設備	空調設備	送排風機設備	ポンプ設備	宗谷設備	除害設備	プール施設
	異常の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

検針及び使用量	種別	冷熱量	温熱量	上水量 [m³]		ガス量 [m³]	
	項目	[MJ]	[MJ]	(取引)	(厨房)	(一般)	(厨房)
	本日読み			7,744	58,890	498	220,346
	昨日読み			7,735	58,890	498	220,346
	使用量			9	休止中	0	休止中

宗谷	キュービクル					分電盤室							消火ポンプ			その他		
	電圧 [V]			温度	外観検査	照明電流[A]				動力電流[A]			温度	外観検査	電圧 [V]	外観検査	水レベル	異常の有・無
	R-S	S-T	T-R	[°C]		R	S	T	N	R	S	T	[°C]					
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	有 <input checked="" type="radio"/> 無

水質検査結果報告書

報告書№ 132794

発行日 2017/09/15

船の科学館 様

濃度等計量証明事業

神奈川県知事登録 第168号

建築物飲料水水質検査業

登録横浜市 28水第12号

アムコン株式会社

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1926

TEL : 045-540-8590

ご依頼がありました試料の検査結果を下記の通り報告致します。

物件名	船の科学館		
所在地	東京都品川区八潮3-1		
採水場所	1F 管理室		水道水
検査目的	水道法水質基準の水質適否試験	検査項目	11項目
採水年月日	2017/09/11	12:30	採水者 藤崎

検査項目	検査値	基準値
一般細菌 (1mL中)	0	100個/mL 以下
大腸菌 (100mL中)	不検出	検出されないこと(100mL中)
亜硝酸態窒素 (mg/L)	<0.004	0.04mg/L 以下
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素 (mg/L)	1.81	10mg/L 以下
塩化物イオン (mg/L)	20.3	200mg/L 以下
有機物等[全有機炭素(TOC)の量] (mg/L)	0.6	3mg/L 以下
水素イオン濃度(pH)	7.3 (14℃)	5.8~8.6
味	異常なし	異常でないこと
臭気	異常なし	異常でないこと
色度 (度)	0.5	5度以下
濁度 (度)	0	2度以下
残留塩素 (mg/L)	---	
外観	異常なし	異常でないこと
- 以下余白 -		
検査方法	平成15年度厚生労働省告示第261号水質基準に関する省令による。	
検査責任者	藤山 陽子	
判定	上記検査の結果、水道法水質基準に 適合です。	
備考		

<= 未満

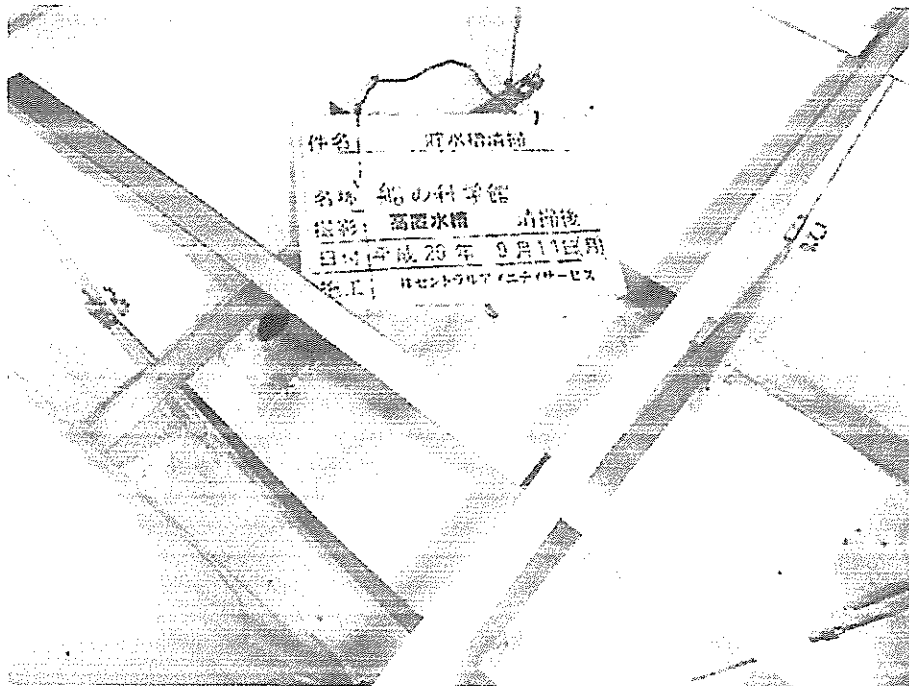
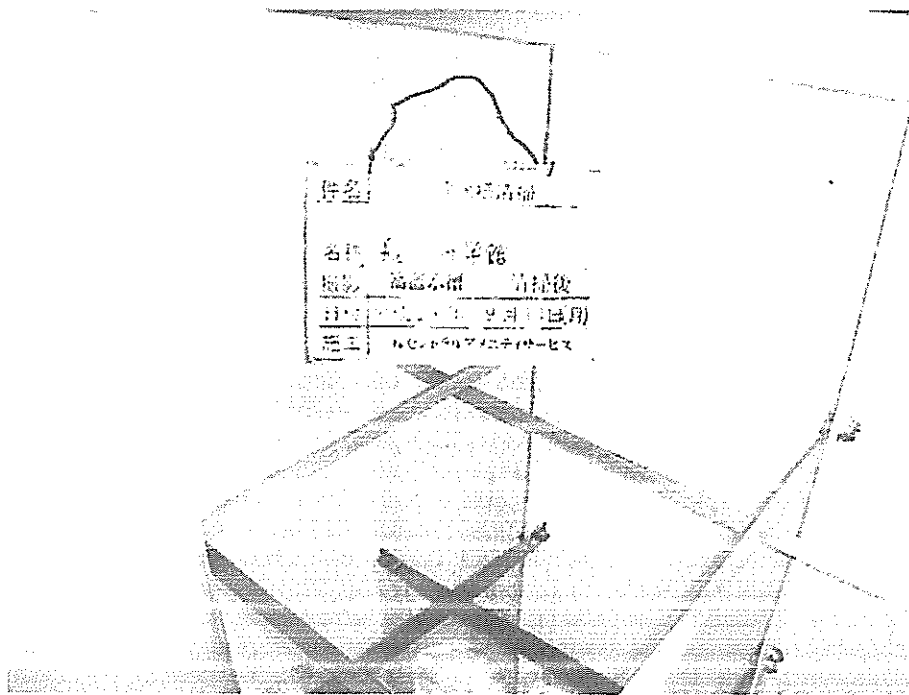


受水槽点検表

受水槽点検表					
受水槽	容量	材質	構造	設置場所	
(1基)	248.7m ³	コンクリート	6槽	地下	
()					
	点検項目	判定		○は良、／は無	
		(6槽)	()	状況	
構 造	点検・清掃が容易で衛生的な場所	○			
	排水槽などの影響	○			
	適正な容量	○			
	連通管の位置、排水口と揚水口の位置	○			
	マンホールの数・位置・大きさ・立ち上げ・防水・接続など	○			
	上部配管スリーブ(排水管貫通部)の密閉・立ち上げ	○			
	吐水口空間・排水口空間の確保	○			
	等	オーバーフロー管・通気管の防虫網	○		
		外部から汚染されるような開口部	○		
		槽内及び槽直上部に給水管以外の配管	○		
		クロスコネクション(他の配管設備と連結)	○		
		槽周囲に槽内の水質を汚染させるようなものを置いていないか	○		
維 持 管 理	ポンプ室等の清掃・整備	○			
	槽内に錆・沈渣・油・異物・浮遊物・亀裂・水垢・塗装の剥がれなど	○			
	内部ステー(支柱)の状況	○			
	電極棒・フロートスイッチの状況	○			
	満減水警報装置の作動状況	○			
	給水ポンプの状況(整備状況・性能)	○			
	ボールタップ・FM弁の状況	○			
	バルブ・サクシオンパイプの状況			フード弁1個漏水(No2)	
槽内梯子の発錆・水垢・腐食の状況	／				

高置水槽

清掃後



船の科学館 様

株式会社日立ビルシステム

東京総支社 大手町支店 お台場営業所
TEL 03-5500-0451 http://www.hbs.co.jp/
報告日: 2018年3月19日
お客さま担当: 鈴木 政則
(保全整備士1級/昇降機検査資格者)

お客さま番号

号機

18-123

1,3号機

毎度お引立てを賜り厚くお礼申し上げます。
エレベーター1,3号機の定期点検を実施致しました。
機械室内、各機器の動作状態を点検致しました。(1,3号機)

定期点検のご報告

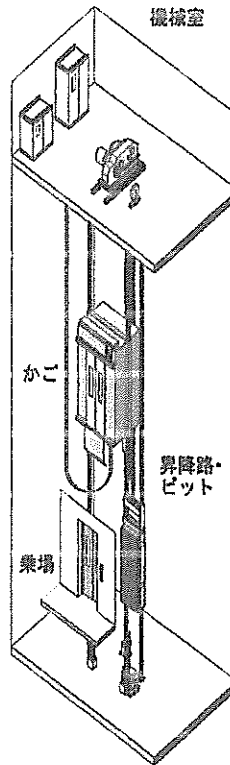
記号のご説明

○: 正常を確認しました。 / : 作業対象外項目 - : 該当機器・装置なし
X: 修理・交換を要します。【安全設備: 取付要】 △: 修理・交換時期が近づいています。【安全設備: 不適格】

項目	作業項目/号機	001	003
1. 機械室			
①機械室環境状況		○	○
②受電盤・制御盤・信号盤		○	○
<制御盤内の温度>		-	-
<主接触器の動作状態>		-	-
③電動機・巻上機		○	○
<電動機動作状態>		-	-
④電動発電機・起動盤		○	-
⑤ブレーキ		○	○
<制動距離>		-	-
<ブレーキの作動状態>		-	-
⑥調速機		○	○
⑦乗場選択器		○	○

項目	作業項目/号機	001	003
2. かが			
①かが運転状態		○	○
<走行速度(m/min)>		-	-
②外部への連絡装置		○	○
<インターホンバッテリー電圧>		-	-
③かが内装・照明・停電灯・ファン		○	○
<照明点灯時間(h/d)>		-	-
④かが操作盤・表示ランプ		○	○
<操作ボタンの作動状態>		-	-
⑤かがドア・敷居		○	○
⑥ドア開閉装置・安全装置		○	○
<ドア開閉装置・安全装置>		-	-
⑦かが上環境状況		/	/
⑧ガイドシュー(ローラ)・給油器		/	/

項目	作業項目/号機	001	003
3. 乗場			
①かが着床状態		○	○
<停止時の段差>		-	-
②ドア開閉状態		○	○
<ドア開閉時間>		-	-
③乗場ドア・敷居		○	○
④ドアインターロックスイッチ		/	/
<異常動作の検出>		-	-
⑤乗場ボタン・表示ランプ		○	○
<乗場ボタンの異常>		-	-



エレベーター構造図(例)

お客さまへのご提案内容

項目	作業項目/号機	001	003
4. 昇降路・ピット			
①昇降路・ピット内環境状況		/	/
②各プーリー		/	/
③各テンションプーリー		/	/
<調速機用プーリー回転状態>		-	-
④主・調速機ロープ		/	/
⑤ガイドレール		/	/
⑥つり合いおもり		/	/
⑦端階行過ぎ防止装置・緩衝器		/	/
<異常動作の検出>		-	-
⑧非常止装置・移動ケーブル		/	/

項目	作業項目/号機	001	003
5. 付加仕様(オプション)			
①クーラー		/	-
②地震時管制運転装置		/	-

項目	作業項目/号機	001	003
6. 意匠清掃			
①かがドア・敷居清掃		/	/
②かが操作盤・側板・床・幅木清掃		/	/
③乗場ドア・敷居・三方枠清掃		/	/



青字: 処置内容 緑字: へん入診断項目

本メンテナンスレポートについてのお問い合わせは
担当営業所までご連絡をお願いします。

お客さまのニーズに合わせて選べるエレベーター リニューアルメニュー GS Select

- Select 1 予算や工事期間に応じてリニューアル内容を選択
- Select 2 工事期間を短くすることで利用者の負担軽減
- Select 3 必要の先進機能を必要なものだけ選択
- Select 4 福祉対応機能が充実したフルラインアップメニュー

次回作業予定のお知らせ

お客さま確認欄:





第三十六号の四様式 (第六条、第六条の二の二関係) (A4)

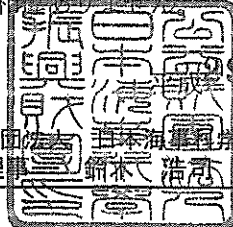
定期検査報告書
(昇降機)
(第一面)

建築基準法第12条第3項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

東京都知事 様

報告者氏名

公益財団法人 日本海事科学振興財団 常務理事 鈴木 浩司



年11月29日



検査者氏名 今野 一幸



【1. 所有者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 コウキザイダンホジン ニホンカイガクケンコウザイダン ショウリツ スズキ ヒロシ
- 【ロ. 氏名】 公益財団法人 日本海事科学振興財団 常務理事 鈴木 浩司
- 【ハ. 郵便番号】 135-8587
- 【ニ. 住所】 東京都品川区東八潮3-1
- 【ホ. 電話番号】 03-5500-1115

【2. 管理者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 コウキザイダンホジン ニホンカイガクケンコウザイダン ショウリツ スズキ ヒロシ
- 【ロ. 氏名】 公益財団法人 日本海事科学振興財団 常務理事 鈴木 浩司
- 【ハ. 郵便番号】 135-8587
- 【ニ. 住所】 東京都品川区東八潮3-1
- 【ホ. 電話番号】 03-5500-1115

【3. 報告対象建築物等】

- 【イ. 所在地】 東京都品川区東八潮3-1
- 【ロ. 名称のフリガナ】 フネガクカン
- 【ハ. 名称】 船の科学館
- 【ニ. 用途】 博物館

【4. 報告対象昇降機】

- 【イ. 検査対象昇降機の台数】 (2 台)
- 【ロ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり 2 台 (うち既存不適格 2 台)
要重点点検の指摘あり 0 台 指摘なし 0 台
- 【ハ. 指摘の概要】
- 【ニ. 改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無
- 【ホ. その他特記事項】

※受付欄	※記事欄	※判定欄

建築物等の名称 : 船の科学館
検査会社のコード等 : 江東-18123-03

登録番号 1987033519
延べ面積 16,870 m²

株式会社日立ビルシステム 江東営業所

平成 28 年 6 月 2 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団 御中
常務理事 鈴木浩司 様

有限会社 ミナミ
代表取締役
清水 建

完了報告書

船の科学館 消防用設備等の法定(総合)点検が完了致しましたのでご報告申し上げます。

1. 対象建物名 本館、レストハウス、キャビン、別館展示場、倉庫
灯台、駐車場・料金場、宗谷、宅地内共同溝
2. 実施時期 平成28年6月1日 ～ 平成28年6月2日
3. 結果 点検結果の詳細につきましては、各点検票をご参照願います。

以上



船の科学館

消防用設備ご報告事項一覧表

平成28年6月1日 ～ 平成28年6月2日

【本館】

1. 消火器
①消火器本体 経年劣化の為、新規消火器との交換を要します。
・粉末3.5kg型 × 10本
・強化液2.00型 × 8本
2. 自動火災報知設備
①3階 井24「会長室」空気管検出器不良の為、改修を要します。
②受信機バッテリー容量不足の為、交換を要します。
(DC24V 1.65Ah)
3. 誘導灯及び誘導標識
①器具不良の為、本体交換を要します。
・避難口誘導灯 12台
・通路誘導灯 6台

【付属棟 レストハウス】

1. 消火器
①消火器本体 経年劣化及び本体腐食の為、新規消火器との交換を要します。
・強化液2.00型 × 2本

【付属棟 共同溝】

1. 自動火災報知設備
①受信機本体の劣化により、スイッチ操作が出来ない場合があります。また異状表示(断線等)が出る場合もあります。
本体の交換を要します。

船の科学館(本館)

H28.6 点検時不良

展望塔1階

展望塔2階

展望塔1階

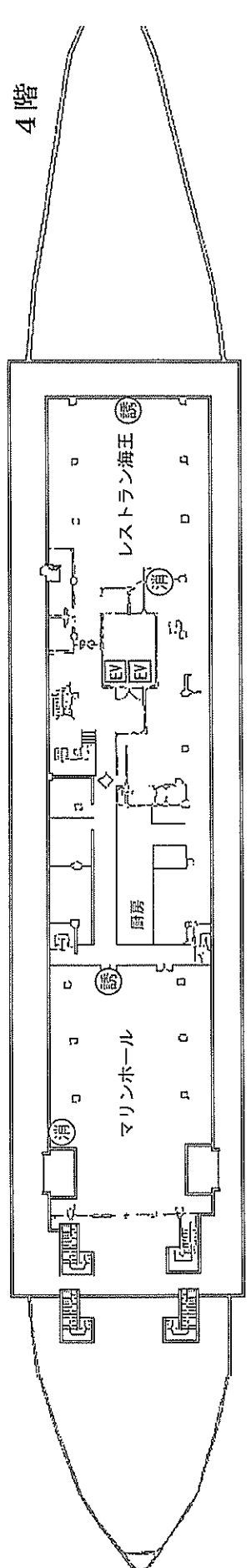
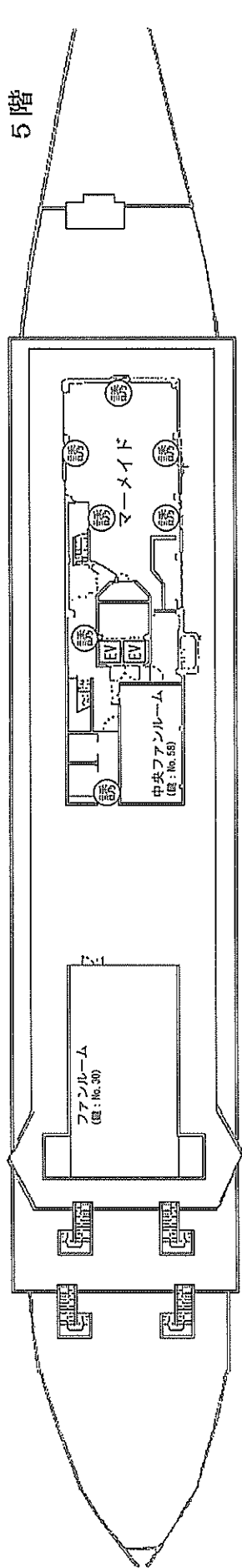
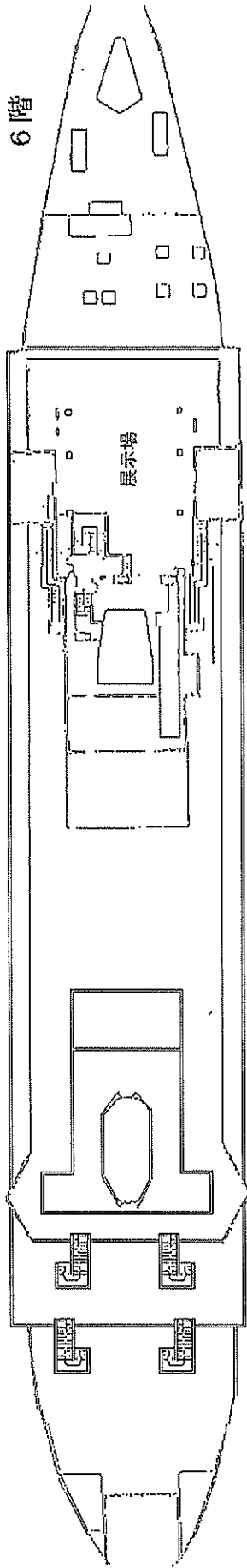
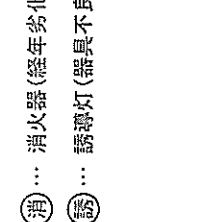
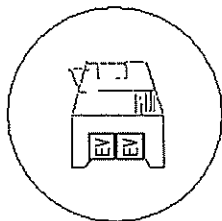
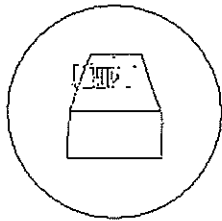
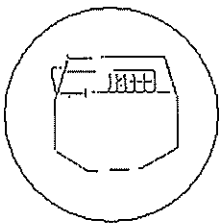
展望塔2階

展望塔1階

展望塔2階

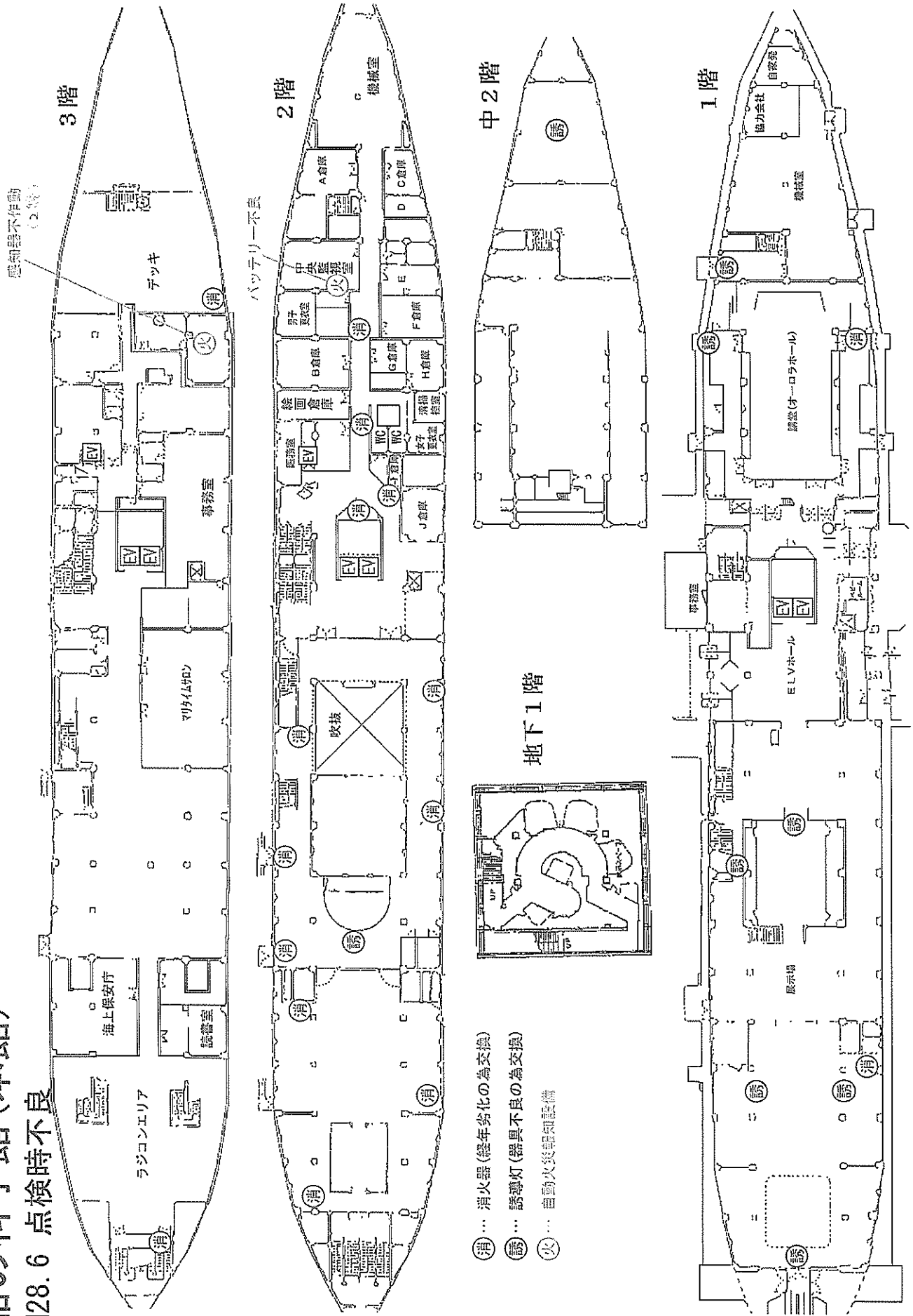
消 …… 消火器 (経年劣化の為交換)

誘 …… 誘導灯 (器具不良)

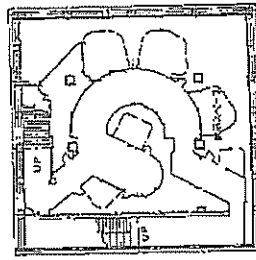


船の科学館 (本館)

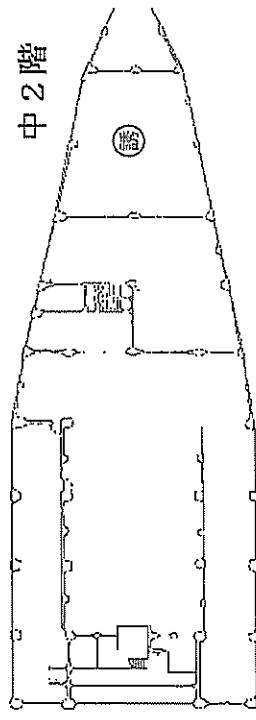
H28.6 点検時不良



- … 消火器 (経年劣化の為交換)
- … 誘導灯 (器具不良の為交換)
- ⊙ … 自動火災警知設備



地下1階



中2階

1階

3階

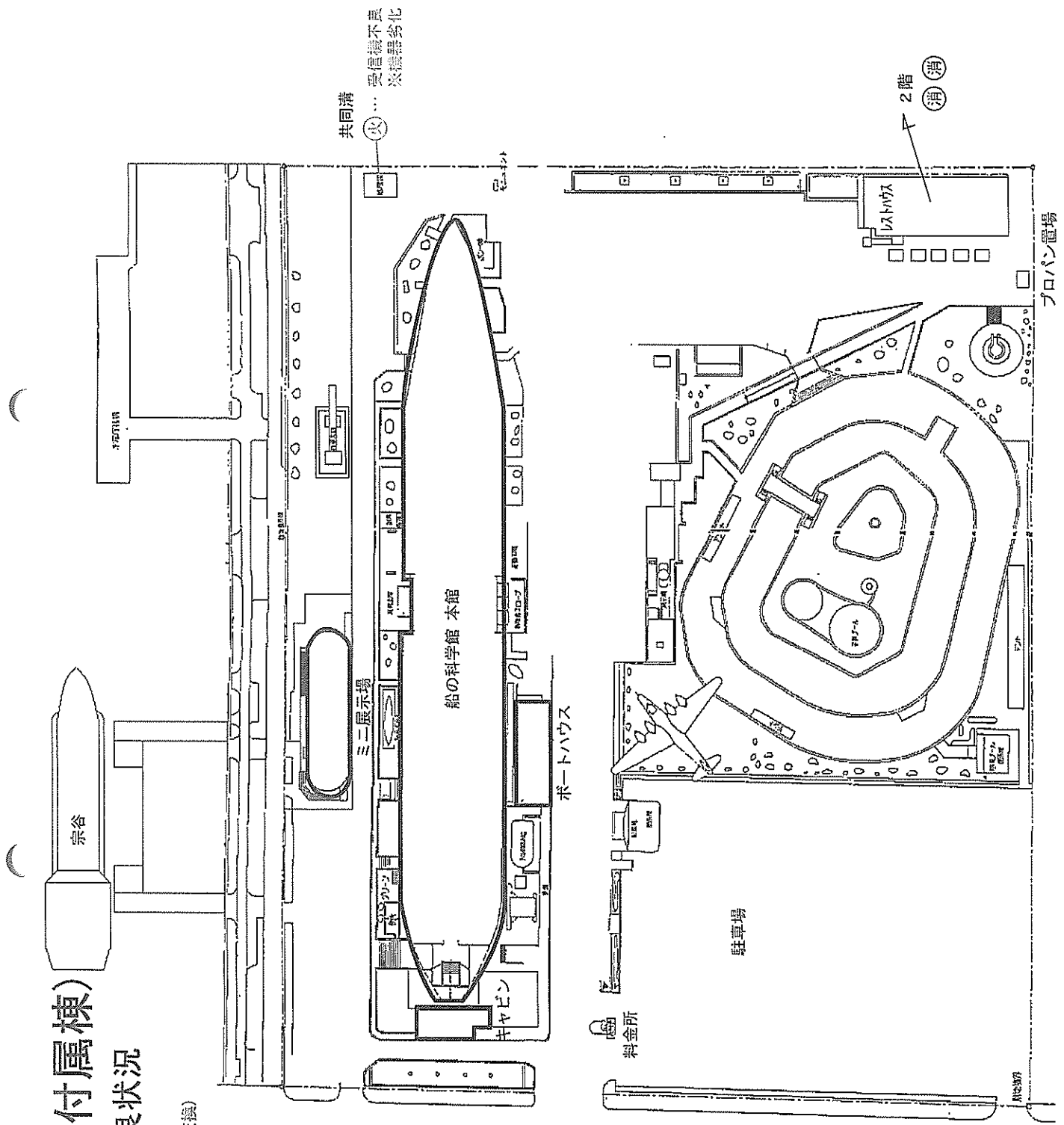
2階

船の科学館(付属棟)

H28.6 点検時不良状況

①… 消火器(経年劣化の為交換)

②… 自動火災報知設備



消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書

平成 年 月 日

東京消防庁

大井消防署長 殿

届出者

住所

氏名

㊞

電話番号

下記のとおり消防用設備等(特殊消防用設備等)の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

消防 対 象 物	所在地	東京都品川区東八潮3-1					
	名称	船の科学館 【本館】					
	用途	8項					
	構造・規模	耐火造地上	5階地下	2階			
		床面積	m ²	延べ面積	m ²		
点検期間	年 月 ~ 平成28年6月まで (年 月 ~ 年 月まで)						
消防用設備等 (特殊消防用設備等)の種類	消火器・屋内消火栓設備・スプリンクラー設備・自動火災報知設備 非常警報設備・避難器具・誘導灯・排煙設備・連結送水管 簡易自動消火装置・防排煙制御設備						
点検票	別添のとおり						
点 検 者	住所	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-14-102	社名	有限会社ミナミ			
	氏名	別添のとおり	電話番号	044-281-3129			
	点検資格	消防設備士	種類等	交付知事等	交付年月日	講習受講状況	
			甲・種類	都道府県	交付番号	受講地	受講年月
	点検資格	消防設備点検資格者	種類	特・第1・第2種	年月日	都道府県	年月
					第 号	都道府県	年月
			交付年月日	講習受講状況			
			交付番号	受講年月			
		年月日	年 月				
		第 号	年 月				
※ 受付欄		※ 経過欄		※ 備考			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 点検者が複数の場合は、別記様式第3に記入し、添付すること。
 - 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
 - 4 ※印欄は、記入しないこと。
 - 5 点検期間のうち、消防用設備等と同時に特殊消防用設備等を点検する場合、その点検期間を()へ記入すること。
 - 6 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社(会社以外の法人に所属する場合は当該法人)に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果総括表

(その1)

名称	船の科学館 【本館】		防火 管理者	小川康樹	
所在	東京都品川区東八潮3-1		点検実施 責任者	齋藤慎一郎	
点検種別	機器点検・総合点検 (設備等設置維持計画による点検)	点検 年月日	平成28年6月1日 ~ 平成28年6月2日		
設備名	点検結果		措置内容	立会者	
	判定	不良内容			
消火器	良・不良	消火器本体 経年劣化の為、新規消火器との交換を要します。 粉末3.5kg×10本・強化液2.00型×8本		小川康樹	
屋内消火栓設備	良・不良	異状ありません		小川康樹	
スプリンクラー設備	良・不良	異状ありません		小川康樹	
自動火災報知設備	良・不良	①受信機用バッテリー容量不足の為、交換を要します。(DC24V/1.65Ah) ②3階#24「会長室」空気管検出器不良の為、改修を要します。(計1台)		小川康樹	
非常警報設備	良・不良	異状ありません		小川康樹	
避難器具	良・不良	異状ありません		小川康樹	
誘導灯	良・不良	器具不良の為、改修を要します。		小川康樹	
排煙設備	良・不良	異状ありません		小川康樹	












備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

備考2 判定欄は、正常の場合は「良」に不良の場合は「不良」に○印を付し、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

備考3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果総括表

(その2)

設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
連結送水管	良・不良	異状はありません		小川 康樹 
簡易自動消火装置	良・不良	現在は厨房として使用していない為、電源OFFの状態です。		小川 康樹 
防排煙制御設備	良・不良	異状はありません		小川 康樹 
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に不良の場合は「不良」に○印を付し、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検者一覧表

点 検 者							設 備 名
住所	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-14-102			社 名	有限会社ミナミ		消火器
氏名	伊藤 龍也			電話番号	044-281-3129		
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況		
		甲 6類	東京都	平成24年8月24日	受講地	受講年月	
		乙種		第00952号	神奈川県	H26.10	
		種 類		交付年月日	再講習受講状況		
	消防設備点検者	特 種		第 号	年 月		
		第 1 種		平成25年7月25日	年 月		
				第142501401号	年 月		
		第 2 種		平成25年8月6日	年 月		
			第242501322号	年 月			
住所	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-14-102			社 名	有限会社ミナミ		屋内消火栓設備 スプリンクラー設備 簡易自動消火装置 連結送水管
氏名	森谷 智雄			電話番号	044-281-3129		
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況		
		甲 1類	東京都	H9年4月3日 H9年12月3日	受講地	受講年月	
		乙種 3類	東京都	第00306号 第00244号	東京都	H26.5	
		種 類		交付年月日	再講習受講状況		
	消防設備点検者	特 種		第 号	年 月		
		第 1 種		第 号	年 月		
		第 2 種		第 号	年 月		
				第 号	年 月		
住所	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-14-102			社 名	有限会社ミナミ		自動火災報知設備 非常警報設備 防排煙制御設備
氏名	工藤 広樹			電話番号	044-281-3129		
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況		
		甲 4類	東京都	H18年4月21日 H16年3月18日	受講地	受講年月	
		乙種 6類	東京都	第00331号 第00313号	東京都	H23.6	
		種 類		交付年月日	再講習受講状況		
	消防設備点検者	特 種		第 号	年 月		
		第 1 種		平成17年4月28日	H22年 4月		
				第141701123号	H22年 4月		
		第 2 種		平成17年4月28日	H22年 4月		
			第241701135号	H22年 4月			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社(会社以外の法人に所属する場合は当該法人)に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。
 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習(再講習)受講年月日を記載すること。

消防用設備等(特殊消防用設備等)点検者一覧表

点 検 者							設 備 名	
住所	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-14-102			社 名	有限会社ミナミ		避難器具 誘導灯	
氏名	柳 下 英 幸			電話番号	044-281-3129			
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況			
		甲 6類	東京都	平成26年5月13日	受講地	受講年月		
	乙種		第 00735 号					
	消防設備点検者	種 類		交付年月日	再講習受講状況			
				交付番号	受講年月			
		特 種		第 号	年 月			
第 1 種			平成26年9月5日 第 142601753 号	年 月				
第 2 種		平成26年9月16日 第 242601749 号	年 月					
住所	神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-14-102			社 名	有限会社ミナミ		排煙設備	
氏名	齋 藤 慎 一 郎			電話番号	044-281-3129			
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況			
		甲 4類	東京都	H16年11月29日 H13年2月23日	受講地	受講年月		
	乙種 6類	東京都	第00957号 第00389号	東京都	H24.12			
	消防設備点検者	種 類		交付年月日	再講習受講状況			
				交付番号	受講年月			
		特 種		第 号	年 月			
第 1 種			平成13年3月30日 第 141300744 号	H28 年 1 月				
第 2 種		平成13年3月30日 第 241300882 号	H28 年 1 月					
住所				社 名				
氏名				電話番号				
資格	消防設備士	種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況			
		甲 類	都道		受講地	受講年月		
	乙種 類	府県		都道 府県				
	消防設備点検者	種 類		交付年月日	再講習受講状況			
				交付番号	受講年月			
		特 種		第 号	年 月			
第 1 種			第 号	年 月				
第 2 種		第 号	年 月					


- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 住所電話番号の欄は、点検者が法人に属する場合は、点検会社の住所、電話番号を記入する事。
 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の区分、種類等、交付年月、交付番号、交付機関、最新の講習(再講習)受講年等を記入する事。

PBXシステム保守実施表(月報)

整理番号

実施年月 2017年5月

クリエイトコミュニケーションシステム株式会社

お客様名		船の科学館							システム設置場所			お客様ご確認印	
巡回種別	定期(巡回回数)	回					不定期			システム名			
周 期	1	2	3	4	5	1	2	3	システム設置年月日 1998年12月28日				
実施日	24								着信応答方式: ダイヤルイン・DID・DIL・DGL 代表・テナント				

システム機器設備内容

名 称	機 種 名	数 量	名 称	機 種 名	数 量	名 称	機 種 名	数 量
PBXシステム	CT10X	1	保留音システム					
PHSシステム			IVRシステム					
料金管理システム			ACDシステム					
ボイスメールシステム			CTIシステム					
留守番電話システム			LANシステム					
通話録音システム								

定期試験点検項目	予定/実施					各種パッケージ実装及び現用			内線電話機及び各種装置設備数	
	1	2	3	4	5	パッケージ名称	実装	現用	名称	台数
PBXシステム本体関係						アナログ外線			アナログ式電話機(シンプル)	
制御系動作確認試験	○					INS64外線			アナログ式電話機(多機能)	
メモリー系動作確認試験	○					INS1500外線			デジタル式多機能電話機	
通話路系動作確認試験	○					IP外線			停電用デジタル式多機能電話機	
電源系電圧・電流確認点検	○								コールコードレス電話機	
入出力装置関係						アナログ内線			PHS電話機	
システムコンソール動作確認試験	○					デジタル内線			IP電話機(シンプルタイプ)	
プリンター動作確認試験	○					アナログ内線(レバース付)			IP電話機(多機能タイプ)	
外部システム接続インターフェース回路動作確認試験	○					INS内線			IP電話機(停電用タイプ)	
電源装置関係						PHS内線			FAX付電話機	
整流器 入出力電圧及び電流点検						IP内線			ヘッドセット付デジタル電話機	
外観点検(発熱・発音・老朽劣化等)	○								ルーター装置	
蓄電池 出力電圧及び電流試験						LD方式専用線			ゲートウェイ装置	
液量点検及び補液	○					OD方式専用線			パソコン	
外観点検(腐食・歪・ヒビ・熱)	○					2M方式専用線			FAX	
MDF・IDF関係 (抜き取り点検)						IP方式専用線				
各種端子板導通点検	○								システムコンソール	
外観点検(腐食・老朽化等)	○					VOIP用品			システムコンソール用プリンター	
電話機関係 (抜き取り点検)									課金用プリンター	
通話状態確認試験	○									
外観点検(破損・コード切断等)	○									
附属システム関係										
ボイスメールシステム運用機能試験	○									
料金管理システム運用機能試験	○									
PHSシステム運用機能試験(PHSアンテナ)	○									
CTIシステム運用機能試験	○									
ナースコールインターフェースシステム運用機能試験	○									
通話録音装置運用機能試験	○									

日付	障 害 現 象	障 害 個 所 原 因	処 置

記事欄

公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館 殿

件名 船の科学館受変電設備点検工事〔特高部〕
(H28年度)

点検報告書

平成 29年 1月



Tokyo Densetsu Service Co.,Ltd

東京電設サービス株式会社

新宿センター

承認者	審査者	現場代理人
		

目 次

1. 点検結果総括所見	所見-1～3
2. 点検報告書		
(1)油入変圧器点検	変圧器-1～2
(2)22kV空気遮断器点検	ABB-1～6
(3)22kV断路器点検	断路器-1～6
(4)配線用遮断器点検	CB-1～18
(5)低圧電磁接触器点検	接触器-1～4
(6)コンデンサ・リアクトル点検	C・L-1～2
(7)避雷器点検	避雷器-1
(8)保護継電器点検	Ry-1～12
(9)操作卓点検	操作卓-1
(10)絶縁抵抗測定	MΩ-1
(11)遠方操作試験	操作-1～4
(12)シーケンス試験	警報-1～3
(13)使用計器一覧	計器-1
3. 写真集		
-1 点検写真	写真-1～12
-2 指摘事項写真	指摘-1～11
4. 別紙:メーカー報告書		

1. 点検結果総括所見

総括所見

件名 船の科学館受変電設備点検工事〔特高部〕(H28年度)

1. 点検実施年月日

○ 平成28年12月26日(月)7時30分～17時00分

2. 点検場所

東京都品川区東八潮 3-1
財団法人 日本海事科学振興財団 船の科学館

3. 点検実施者

東京電設サービス(株) 新宿センター
現場代理人 油座 徹
災害防止責任者 高島 和幸
点検協力会社 (株)三上工業所・東芝電機サービス

4. 点検機器及び点検内容(詳細は別紙報告書参照)

天候/気温/湿度 : 晴れ/18℃/ 64%

No.	対象機器	点検種別	数量	点検結果	点検者	備考
1	22kVキュービクル	C	2	良	倉橋 俊雄	
2	22kV空気遮断器	C	2	良	八田 康彦	
3	22kV変圧器	C	2	良	但野 孝男	
4	高圧・低圧キュービクル	C	9	良	倉橋 俊雄	
5	6kV以下配線用遮断器	C	15	注意	田島 利招	
6	6kV以下配線用遮断器	精密	3	注意	須賀 啓二郎	52S1,52S2,52B 東芝電機サービス点検
7	配電盤(操作卓)	C	5	注意	佐藤 卓也	
8	継電器	A	37	注意	田山 光一	
9	絶縁抵抗測定(高圧幹線)	C	一式	良	但野 孝男	
10	総合シーケンス	C	一個所	良	TDS 牧野・飯島	
11	断路器(89-O2)	C	1台	良	但野 孝男	H28追加作業

5. 点検結果

○ 上記設備の点検・試験を実施しました。

一部運転に支障がある機器もありますので、今後改善等についてご検討下さい。

また下記の点に不具合があります。

(1)6kV以下配線用遮断器ほか開閉器について

- ・52S1: 制御回路端子カバーがありませんでした。(前年度継続)
モールドケースに破損・亀裂が見られます。
遮断器の入・切操作が緩慢になっていましたが、調整・注油を行ったところ幾分改善しました。
操作用主バネに発錆が見られます。
- ・52S2: 操作用主バネに発錆が見られます。
- ・52B: モールドケースに破損・亀裂が見られます。
操作用主バネに発錆が見られます。
※ 52S1, 52S2, 52Bは経年劣化が見られ、操作に支障の出る事が懸念されます。
設備更新を推奨いたします。
※ メーカー点検報告書を参照ください。
- ・52F11: 制御回路端子カバーがありませんでした。(前年度継続)
下部コンタクトの絶縁カバー(プレスボード製)にひび割れがあります。(前年度継続)
- ・52F13: 制御回路端子カバーがありませんでした。(前年度継続)
補助リレーカバーにヒビ割れがあります。(前年度継続)
上部、一次側端子部カバーが割れています。(前年度継続)
- ・52F14: 固定側、下部黒相のコンタクトガイドが破損しています。(前年度継続)
- ・52F21: 復電時、投入不良により復電できず(現在、きんでん殿により復旧済。対策は検討中)
- ・52F22: 復電時、投入不良により手動操作にて投入しました。(次回投入可能かは不明) 動作 故障
- ・52C1: 固定側、下部黒相のコンタクトガイドが破損しています。(前年度継続)
- ・88C11 ダクトカバーが1箇所ありませんでした、端子台カバーが4箇所ありませんでした(前年度継続)

(2)継電器について

- ・地絡方向継電器: 継電器単体 V_0 電圧回路の配線被覆に劣化による剥離があります。(前年度継続)
(67E13以外全て) 現状での使用はできますが、継電器を更新することを推奨いたします。 更新 予定
- ・地絡方向継電器: ・64V-11、12、13、21、22、23 ・67F-11、12、13、14、15、16、21、22、23、24、25、26
上記継電器の位相特性が管理値から外れています。
- ・過電流継電器: 瞬時要素動作の接点抵抗が高くなっており、動作が不安定になっていました。
(受電用51R-1,2,3) 接点部の清掃を実施し、動作良好となりました。(前年度継続)
- ・地絡過電流継電器: 円盤側の接点にぐらつきがあります。
(受電用51GR) (動作値に問題はありませんが、動作時間が管理値から外れています。
早めの取替を推奨いたします。)
- ・不足電圧継電器: 円盤側の接点にぐらつきがあります。
27S1 (動作値、動作時間に問題はありませんが、早めの取替を推奨いたします。)

(3)操作卓について

- ・電力監視盤: 52F13の赤ランプ固定ナットが破損しており、締付固定ができません(前年度継続)
- ・動力監視盤: 運転状態表示パネルの亚克力板がランプの熱により内部にひび割れがおきています
(外側表面には異常ありません) (前年度継続)

(4)その他について

- ・コンデンサNo.1: アクリルカバーが破損しています (前年度継続)
端子台カバーがありません 2箇所 (前年度継続)
コンデンサ外箱に膨らみが見られます (前年度継続)

- ・コンデンサNo.2: アクリルカバーが破損しています (前年度継続)
端子台カバーがありません 4箇所 (前年度継続)
蛍光灯の端子台カバーがありません (前年度継続)
コンデンサ外箱に膨らみが見られます (前年度継続)

以上

2. 点検報告書

変圧器点検結果

機器名	型式	容量	点検内容
No. 1 変圧器	SCT-N	1250kVA	普通点検

No.	点検箇所	点検項目	結果	総合判定	備考
1	巻線	絶縁抵抗測定			
2	絶縁油	採油の有無	無		
		油中ガス分析 酸価測定			
		破壊電圧			
3	操作装置 (タップ切換器)	タップ番号の指示	NO.2	A	
		油漏れはないか	○		
		塗装、発錆の状態は良いか	○		
4	ブッシング 一次ブッシング 二次ブッシング	端子の局部過熱はないか	○	A	
		端子の汚損、破損はないか	○		
		油漏れはないか	○		
		締付け状態(緩み、他)は良いか	○		
5	外図 (タンク)	塗装、発錆の状態は良いか	○	A	
		油漏れはないか	○		
		破損、変形、汚損はないか	○		
		ボルト、ナット締付け状態は良いか	○		
		パッキングの状態は良いか	○		
6	放熱器	油漏れはないか	○	A	
		塗装、発錆の状態は良いか	○		
		破損、変形はないか	○		
7	窒素	窒素ガス封入指示	-0.08kg/cm ²	A	
		圧力計の状態(指示など)は良いか	○		
		文字盤、端子などの状態は良いか	○		
		結露はないか	○		
		バルブ、パッキングの状態は良いか	○		
8	ダイヤル温度計	取付ボルトの状態は良いか	○	A	
		温度の指示	32°C		
		端子のくもり、結露はないか	○		
		導管の取付状態は良いか	○		
		取付状態(防振ゴムなど)は良いか	○		
		警報接点の動作確認	○		
9	放圧装置	絶縁抵抗測定		A	
		端子間			
		端子一括-E			
		塗装、発錆の状態は良いか	○		
		端子台、端子取付状態は良いか	○		
		パッキングの状態は良いか	○		
10	ダイヤル油面計	膜、ピンの状態は良いか	○	A	
		警報接点の動作確認	○		
		油面の指示値	25%		
11	ダクト	油漏れはないか	○	A	
		ケーブルの取付状態はよいか	○		
		内部の結露はないか	○		
		Bg、端子締付け状態は良いか	○		
		扉、パッキングの締付けは良いか	○		
		雨水の浸入はないか	○		

点検結果の記号：○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果：A 良好(異常なし)

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

空気遮断器点検結果 [普通点検]

回線名	科学館特配線三番	定格電圧電流	24kV/1200A
機器番号	52-01	遮断容量	1000MVA
形式	APC-20M100A	試験番号	71951457
製造者	東芝	製造年月	1971

名称	点検内容	結果			総合結果	
		A相	B相	C相		
消音部	抑制抵抗	断線、割れ、取付位置	/	/	/	A
	抵抗電極棒	消耗、割れ、緩み	/	/	/	
	締付ボルト	緩み	○	○	○	
	絶縁筒	割れ、緩み、折座金	○	○	○	
	保護筒	剥離、変色	/	/	/	
	ストッパー	割れ、枚数、焼損	/	/	/	
遮断部	バネ受け	変形、割れ	/	/	/	/
	接触バネ	折損、損傷、自由長	/	/	/	
	ガイド	変形、亀裂、カジリ	/	/	/	
	摺動接触子	圧縮力、カジリ、変形、焼損	/	/	/	
	可動接触子	消耗、カジリ、カシメ、変形、焼損	/	/	/	
	固定接触子	消耗、カジリ、変形、焼損	/	/	/	
	固定部取付ボルト	止めリング、接触	/	/	/	
	絶縁筒	ピン抜け、剥離、変色	/	/	/	
	送気碍管	カケ、割れ、セメンテング	/	/	/	
断路部	ブレード	カジリ、変形	○	○	○	A
	接触子	消耗、カジリ	○	○	○	
	フィンガー	消耗、変形、カジリ	○	○	○	
	カバー	焼損、割れ、脱落	○	○	○	
	支持碍子	カケ、割れ、セメンテング	○	○	○	
	絶縁ロッド	割れ、変色、損傷	○	○	○	
	ピン	カジリ	○	○	○	
	ヒンジ	セリ、接触不良	○	○	○	
	シャフト	セリ、カジリ	○	○	○	
吹付弁	ピストン	カジリ、変形	/	/	/	/
	ピストンリング	折損、カジリ、変形	/	/	/	
	ポデー	カジリ、変形	/	/	/	
	ダッシュポットピストン	カジリ、変形、割れ	/	/	/	
	セバレーター	カジリ、変形	/	/	/	
	バネ(復帰)	折損、変形、端末	/	/	/	
	プッシュ	カジリ、変形	/	/	/	
	チェックバルブ	カジリ、変形	/	/	/	
バルブ	腐食、リーク	/	/	/		

名称		点検内容	結果	総合結果
制御弁	カバー	発錆、セリ、変形	○	A
	ボールピース(上部)	発錆、セリ、残磁、メッキ(剥離)		
	ボールピース(下部)	発錆、セリ、残磁、メッキ(剥離)		
	ロッド	変形、全長、セリ		
	バネ(ボールピース)	損傷、変形		
	弁座	傷、変形		
	バネ(パイロットバルブ)	損傷、変形		
	コイル	口出絶縁、変形、変色、抵抗値		
	手動ボタン	緩み、セリ、変形	○	
	COピストン	セリ、メッキ、残磁、変形、発錆		
	パイプ組立	ハンダ、チェックバルブ、バネ		
	ピストンリング	カジリ、変形、折損		
	ベロー	変形、リーク		
遅延弁	弁バネ(上部)	折損、変形		
	バルブ	変形、カジリ		
	ピストン	変形、カジリ、消耗		
	ピストンリング	変形、カジリ、消耗		
	ピストンバネ(下部)	折損、変形		
	ケース(上・下部)	傷、変形		
操作気筒	シリンダー(上部)	カジリ、変形		A
	ピストン(上部)	カジリ、変形		
	ピストンリング(上部)	カジリ、変形、折損		
	シリンダー(下部)	カジリ、変形		
	ピストン(下部)	カジリ、変形		
	ピストンリング(下部)	カジリ、変形、折損		
	COバルブ	セリ、変形		
	押さえ	変形、カジリ		
	チェックバルブ	変形、カジリ		
	配管	変形、ハンダ	○	
	付属品	圧力計	指針、零点、リーク	
	開閉表示器	動作、位置	○	
	補助スイッチ	遊び、緩み、回転角、動作、導通	○	
	配線	締付、変色、絶縁、断線	○	
	カウンター	表示、動作、バネ	○	
点検結果の記号：○異常なし ◎交換 △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。				
総合結果：A A：良好(異常なし) B：不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C：不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)				

名称	使用油	点検用品	備考
潤滑潤滑他			

1. 構造点検 結果: 良

2. 開閉試験(操作電圧:DC100V) 結果: 一

a) 開路特性試験

操作圧力 (MPa)	開極時間 (mS)	開極不揃 (mS)	圧力降下 (kg/cm ²)
1.47 [15.0]			
管理値	40 ~ 70	2 以内	

※圧力降下は遮断器動作直後の値を示す。
注: []内の数値は従来の単位系(kgf/cm²)

b) 開路特性試験

操作圧力 (MPa)	開極時間 (mS)	開極不揃 (mS)	A時間 (mS)	B時間 (mS)	圧力降下 (kg/cm ²)
1.47 [15.0]					
管理値	18 ~ 28	2 以内	40 ~ 50	80 ~ 120	

c) 引外し自由特性試験(a接点C)

操作圧力 (MPa)	開極時間 (mS)	開極不揃 (mS)	通電時間 (mS)	開極不揃 (mS)	A時間 (mS)	B時間 (mS)	圧力降下 (kg/cm ²)
1.47 [15.0]							
管理値	40 ~ 70	2 以内	50 以内	2 以内	40 ~ 50	80 ~ 120	

3. 最低動作圧力試験(※鎖錠装置をはずして操作) 結果: 一

	測定値(MPa)	管理値(MPa)
閉路		0.98 [10.0] 以内
開路		0.98 [10.0] 以内

4. 鎖錠装置試験 結果: 一

	鎖錠圧力(MPa)		開錠圧力(MPa)	
	測定値	管理値	測定値	管理値
閉路		1.18±0.02 [12.0±0.2]		鎖錠値+0.02以内 (+0.2)
開路		1.08±0.02 [11.0±0.2]		

5. 遮断部抑制抵抗値測定

抑制抵抗値(Ω)	管理値(Ω)
A相	20.0±10%
B相	
C相	

6. 絶縁抵抗測定試験 結果: 良

a) 主回路 1000Vメガーで測定(MΩ) [対地間]

	遮断部	断路部
A相	2000	2000
B相	2000	2000
C相	2000	2000
管理値	1000 以上	

b) 制御回路 500Vメガーで測定(MΩ) [一括対地間]

DC回路	100
AC回路	100
管理値	2 以上

7. 空気漏れ試験 結果: 一

8. 接触抵抗測定 結果: 一

A相	μΩ	B相	μΩ	C相	μΩ	参考値	100μΩ以下

空気遮断器点検結果 [普通点検]

回線名	科学館特配線二番	定格電圧電流	24kV/1200A
機器番号	52-02	遮断容量	1000MVA
形式	APC-20M100A	試験番号	71951458
製造者	東芝	製造年月	1971

名称	点検内容	結果			総合結果	
		A相	B相	C相		
消音部	抑制抵抗	断線、割れ、取付位置	/	/	/	A
	抵抗電極棒	消耗、割れ、緩み	/	/	/	
	締付ボルト	緩み	○	○	○	
	絶縁筒	割れ、緩み、折座金	○	○	○	
	保護筒	剥離、変色	/	/	/	
	ストッパー	割れ、枚数、焼損	/	/	/	
遮断部	バネ受け	変形、割れ	/	/	/	/
	接触バネ	折損、損傷、自由長	/	/	/	
	ガイド	変形、亀裂、カジリ	/	/	/	
	摺動接触子	圧縮力、カジリ、変形、焼損	/	/	/	
	可動接触子	消耗、カジリ、カシメ、変形、焼損	/	/	/	
	固定接触子	消耗、カジリ、変形、焼損	/	/	/	
	固定部取付ボルト	止めリング、接触	/	/	/	
	絶縁筒	ピン抜け、剥離、変色	/	/	/	
	送気碍管	カケ、割れ、セメンチング	/	/	/	
断路部	ブレード	カジリ、変形	○	○	○	A
	接触子	消耗、カジリ	○	○	○	
	フィンガー	消耗、変形、カジリ	○	○	○	
	カバー	焼損、割れ、脱落	○	○	○	
	支持碍子	カケ、割れ、セメンチング	○	○	○	
	絶縁ロッド	割れ、変色、損傷	○	○	○	
	ピン	カジリ	○	○	○	
	ヒンジ	セリ、接触不良	○	○	○	
	シャフト	セリ、カジリ	○	○	○	
	吹付弁	ピストン	カジリ、変形	/	/	
ピストンリング	折損、カジリ、変形	/	/	/		
ボデー	カジリ、変形	/	/	/		
ダッシュポットピストン	カジリ、変形、割れ	/	/	/		
セパレーター	カジリ、変形	/	/	/		
バネ(復帰)	折損、変形、端末	/	/	/		
ブッシュ	カジリ、変形	/	/	/		
チェックバルブ	カジリ、変形	/	/	/		
バルブ	腐食、リーク	/	/	/		

名称		点検内容	結果	総合結果
制御弁	カバー	発錆、セリ、変形	○	A
	ボールピース(上部)	発錆、セリ、残磁、メッキ(剥離)		
	ボールピース(下部)	発錆、セリ、残磁、メッキ(剥離)		
	ロッド	変形、全長、セリ		
	バネ(ボールピース)	損傷、変形		
	弁座	傷、変形		
	バネ(パイロットバルブ)	損傷、変形		
	コイル	口出絶縁、変形、変色、抵抗値		
	手動ボタン	緩み、セリ、変形	○	
	COピストン	セリ、メッキ、残磁、変形、発錆		
	パイプ組立	ハンダ、チェックバルブ、バネ		
	ピストンリング	カジリ、変形、折損		
	ベロー	変形、リーク		
	遅延弁	弁バネ(上部)	折損、変形	
バルブ		変形、カジリ		
ピストン		変形、カジリ、消耗		
ピストンリング		変形、カジリ、消耗		
ピストンバネ(下部)		折損、変形		
ケース(上・下部)		傷、変形		
操作気筒	シリンダー(上部)	カジリ、変形		A
	ピストン(上部)	カジリ、変形		
	ピストンリング(上部)	カジリ、変形、折損		
	シリンダー(下部)	カジリ、変形		
	ピストン(下部)	カジリ、変形		
	ピストンリング(下部)	カジリ、変形、折損		
	COバルブ	セリ、変形		
	押さえ	変形、カジリ		
	チェックバルブ	変形、カジリ		
	配管	変形、ハンダ	○	
付属品	圧力計	指針、零点、リーク	○	カウンター動作回数 (点検前 385) (点検後 390)
	開閉表示器	動作、位置	○	
	補助スイッチ	遊び、緩み、回転角、動作、導通	○	
	配線	締付、変色、絶縁、断線	○	
	カウンター	表示、動作、バネ	○	
点検結果の記号：○異常なし ◎交換 △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。				
総合結果：A A：良好(異常なし) B：不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C：不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)				

名称	使用油	点検用品	備考
摺動潤滑他			

1. 構造点検結果:良

2. 開閉試験(操作電圧:DC100V)結果:—

a)開路特性試験

操作圧力 (MPa)	開極時間 (ms)	開極不揃 (ms)	圧力降下 (kg/cm ²)
1.47[15.0]			
管理値	40 ~ 70	2 以内	

※圧力降下は遮断器動作直後の値を示す。

注:[]内の数値は従来の単位系(kgf/cm²)

b)開路特性試験

操作圧力 (MPa)	開極時間 (ms)	開極不揃 (ms)	A時間 (ms)	B時間 (ms)	圧力降下 (kg/cm ²)
1.47[15.0]					
管理値	18 ~ 28	2 以内	40 ~ 50	80 ~ 120	

c)引外し自由特性試験(a接点◎)

操作圧力 (MPa)	開極時間 (ms)	開極不揃 (ms)	通電時間 (ms)	開極不揃 (ms)	A時間 (ms)	B時間 (ms)	圧力降下 (MPa)
1.47[15.0]							
管理値	40 ~ 70	2 以内	50 以内	2 以内	40 ~ 50	80 ~ 120	

3. 最低動作圧力試験(※鎖錠装置をはずして操作)結果:—

	測定値(MPa)	管理値(MPa)
閉路		0.98[10.0]以内
開路		0.98[10.0]以内

4. 鎖錠装置試験結果:—

	鎖錠圧力(MPa)		開錠圧力(MPa)	
	測定値	管理値	測定値	管理値
閉路		1.18±0.02[12.0±0.2]		鎖錠値±0.02以内 (+0.2)
開路		1.08±0.02[11.0±0.2]		

5. 遮断部抑制抵抗値測定

抑制抵抗体(Ω)	管理値(Ω)
A相	20.0±10%
B相	
C相	

6. 絶縁抵抗測定試験結果:良

a)主回路 1000Vメガーで測定(MΩ) [対地間]

	遮断部	断路部
A相	2000 以上	2000
B相	2000 以上	2000
C相	2000 以上	2000
管理値	1000 以上	

b)制御回路 500Vメガーで測定(MΩ) [一括対地間]

DC回路	100
AC回路	100
管理値	2 以上

7. 空気漏れ試験結果:—

8. 接触抵抗測定結果:—

A相	μΩ	B相	μΩ	C相	μΩ	参考値	100 μΩ 以下

22kV断路器点検結果

Dev. No.	89-11	形式	KGMM-20JJW
製造年月	1972年3月	定格	24kV 600A
回路名称	MOF断路器		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
接触部	1	フィンガー側の損傷はないか	○	A
	2	ブレード側の損傷はないか	○	
	3	フィンガー圧力は良いか	○	
	4	グリス塗布確認	○	
導電部	1	導電部の締め付けは良いか	○	A
	2	ボルト類の発錆はないか	○	
	3	端子の変色、変形、酸化はないか	○	
	4	碍子の亀裂、汚れはないか	○	
本体	1	発錆、雨水浸入、汚れはないか	○	A
	2	操作機構の動作は円滑か	○	
	3	ボルト類の締め付けはよいか	○	
	4	回転軸の注油確認	△	
全般	1	接触状態は良いか	○	A
	2	ヒンジ部分にカジリはないか	○	
	3	投入状態は良いか	○	
	4	クラッチの掛かり具合は良いか	○	
各種試験	1	開閉操作確認	△	A
	2	開閉時状態確認	○	
	3	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	2000	R-S	2000
S-E	2000	S-T	2000
T-E	2000	T-R	2000

22kV断路器点検結果

Dev. No.	89-P1	形式	KGMM-20JJW
製造年月	1972年3月	定格	24kV 600A
回路名称	1号主変断路器		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
接触部	1	フィンガー側の損傷はないか	○	A
	2	ブレード側の損傷はないか	○	
	3	フィンガー圧力は良いか	○	
	4	グリス塗布確認	○	
導電部	1	導電部の締め付けは良いか	○	A
	2	ボルト類の発錆はないか	○	
	3	端子の変色、変形、酸化はないか	○	
	4	碍子の亀裂、汚れはないか	○	
本体	1	発錆、雨水浸入、汚れはないか	○	A
	2	操作機構の動作は円滑か	○	
	3	ボルト類の締め付けはよいか	○	
	4	回転軸の注油確認	△	
全般	1	接触状態は良いか	○	A
	2	ヒンジ部分にカジリはないか	○	
	3	投入状態は良いか	○	
	4	クラッチの掛かり具合は良いか	○	
各種試験	1	開閉操作確認	△	A
	2	開閉時状態確認	○	
	3	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

絶縁抵抗測定(MΩ)			
受電側 R-E	2000	Tr側 一括-E	2000
受電側 S-E	2000	—	—
受電側 T-E	2000	—	—

22kV断路器点検結果

Dev. No.	89-P2	形式	KGMM-20JJW
製造年月	1972年3月	定格	24kV 600A
回路名称	2号主変断路器		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
接触部	1	フィンガー側の損傷はないか	○	A
	2	ブレード側の損傷はないか	○	
	3	フィンガー圧力は良いか	○	
	4	グリス塗布確認	○	
導電部	1	導電部の締め付けは良いか	○	A
	2	ボルト類の発錆はないか	○	
	3	端子の変色、変形、酸化はないか	○	
	4	端子の亀裂、汚れはないか	○	
本体	1	発錆、雨水浸入、汚れはないか	○	A
	2	操作機構の動作は円滑か	○	
	3	ボルト類の締め付けはよいか	○	
	4	回転軸の注油確認	△	
全般	1	接触状態は良いか	○	A
	2	ヒンジ部分にカジリはないか	○	
	3	投入状態は良いか	○	
	4	クラッチの掛かり具合は良いか	○	
各種試験	1	開閉操作確認	△	A
	2	開閉時状態確認	○	
	3	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

絶縁抵抗測定(MΩ)			
受電側 R-E	2000	Tr側 一括-E	2000
受電側 S-E	2000	—	—
受電側 T-E	2000	—	—

22kV断路器点検結果

Dev. No.	89-03	形式	RVLFC-20M
製造年月	1972年8月	定格	28kV 10kA
回路名称	避雷器用断路器		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
接触部	1	フィンガー側の損傷はないか	○	A
	2	ブレード側の損傷はないか	○	
	3	フィンガー圧力は良いか	○	
	4	グリス塗布確認	○	
導電部	1	導電部の締め付けは良いか	○	A
	2	ボルト類の発錆はないか	○	
	3	端子の変色、変形、酸化はないか	○	
	4	碍子の亀裂、汚れはないか	○	
本体	1	発錆、雨水浸入、汚れはないか	○	A
	2	操作機構の動作は円滑か	○	
	3	ボルト類の締め付けはよいか	○	
	4	回転軸の注油確認	○	
全般	1	接触状態は良いか	○	A
	2	ヒンジ部分にカジリはないか	○	
	3	投入状態は良いか	○	
	4	クラッチの掛かり具合は良いか	○	
各種試験	1	開閉操作確認	○	A
	2	開閉時状態確認	○	
	3	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	2000	R-S	2000
S-E	2000	S-T	2000
T-E	2000	T-R	2000

22kV断路器点検結果 (H28年 追加作業)

Dev. No.	89-02	形式	KGMM-20JJW
製造年月	1972年3月	定格	24kV 600A
回路名称	受電2L用断路器		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
接触部	1	フィンガー側の損傷はないか	○	A
	2	ブレード側の損傷はないか	○	
	3	フィンガー圧力は良いか	○	
	4	グリス塗布確認	○	
導電部	1	導電部の締め付けは良いか	○	A
	2	ボルト類の発錆はないか	○	
	3	端子の変色、変形、酸化はないか	○	
	4	碍子の亀裂、汚れはないか	○	
本体	1	発錆、雨水浸入、汚れはないか	○	A
	2	操作機構の動作は円滑か	○	
	3	ボルト類の締め付けはよいか	○	
	4	回転軸の注油確認	○	
全般	1	接触状態は良いか	○	A
	2	ヒンジ部分にカジリはないか	○	
	3	投入状態は良いか	○	
	4	クラッチの掛かり具合は良いか	○	
各種試験	1	開閉操作確認	○	A
	2	開閉時状態確認	○	
	3	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	2,000	R-S	2,000
S-E	2,000	S-T	2,000
T-E	2,000	T-R	2,000

22kV断路器点検結果 (H27年 追加作業)

Dev. No.	89-01	形式	KGMM-20JJW
製造年月	1972年3月	定格	24kV 600A
回路名称	受電3L用断路器		

分類	<p>H28年度 点検対象外</p>				総合結果
接触部					A
導電部					A
本体					A
全般					A
各種試験					A
点検結果					
総合結果 A:良好					する)
備考					
	S-E	2000	S-T	2000	
	T-E	2000	T-R	2000	

配線用遮断器点検結果

[H28年度 精密点検]

設備名	22kV 受変電設備	形式	S2000
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	S2000-2000AT
Dev. No.	52S1	製造年月	-
回路名称	1号主変2次	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類 普通	総合 結果
一般点検	1 塵埃の有無	○	B
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	△※1	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	△※2	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	B
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	△※3	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	/	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: N)	/	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	/	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	/	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果: B (補修部品が無い場合、補修不可)

A: 良好(異常なし) B: 不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

※ 制御回路端子カバーなし (継続)

※1: モールドケースに破損(S相)および亀裂(T相)がありました。

※2: 開閉操作が緩慢になっていました。分解、清掃、注油を行ったところ、若干改善しました。

※3: 遮断用主バネに発錆が見られます。

全体的に経年劣化が見られるため、設備の更新を推奨いたします。

H28年度はメーカー一点検を実施。

メーカー報告書も併せてご確認ください。

(作業前状態) ON (OFF) (接続) ・ 断路

絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	1,000	R-S	1,000
S-E	1,000	S-T	1,000
T-E	1,000	T-R	1,000
N-E	/		

	R	S	T	N
端子間抵抗	/	/	/	/
清掃前(μΩ)	/	/	/	/
清掃後(μΩ)	/	/	/	/
ワイブ(mm)	/	/	/	/
接触圧力(N)	/	/	/	/

配線用遮断器点検結果

[H28年度 精密点検]

設備名	22kV 受変電設備	形式	S2000
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	S2000-2000AT
Dev. No.	52S2	製造年月	-
回路名称	2号主変2次	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
		普通	
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩耗)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	B
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	△※1	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	/	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	/	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	/	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	/	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果: B (補修部品が無いため、補修不可)

A: 良好(異常なし) B: 不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

※1: 遮断用主バネに発錆が見られます。(前年度継続)

H28年度はメーカー点検を実施。

全体的に経年劣化が見られるため、設備の更新を推奨いたします。

メーカー報告書も併せてご確認ください。

<作業前状態> ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	1,000	R-S	1,000
S-E	1,000	S-T	1,000
T-E	1,000	T-R	1,000
N-E	/	T-N	/

	R	S	T	N
端子間抵抗	/	/	/	/
清掃前(μΩ)	/	/	/	/
清掃後(μΩ)	/	/	/	/
ワイブ(mm)	/	/	/	/
接触圧力(N)	/	/	/	/

配線用遮断器点検結果

[H28年度 精密点検]

設備名	22kV 受変電設備	形式	S2000
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	S2000-2000AT
Dev. No.	52B	製造年月	-
回路名称	母線連絡	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
		普通	
一般点検	1 塵埃の有無	○	B
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	△※1	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	B
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	△※2	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	/	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	/	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	/	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	/	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
	2 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	
最終点検	1 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	A
	2 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	
	3	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果: B (補修部品が無いため、補修不可)

A: 良好(異常なし) B: 不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

※操作不良のため、予備で置いてあった「52-S1」と交換を実施(H25年度)

※1: モールドケースに亀裂がありました。(前年度継続)

※2: 遮断用主バネに発錆が見られます。(前年度継続)

H28年度はメーカー一点検を実施。
メーカー報告書も併せてご確認ください。

全体的に経年劣化が見られるため、設備の更新を推奨いたします。

〈作業前状態〉 ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)				
R-E	1,000	R-S	1,000	R-N
S-E	1,000	S-T	1,000	S-N
T-E	1,000	T-R	1,000	T-N
N-E				

	R	S	T	N
端子間抵抗	/	/	/	/
清掃前(μΩ)	/	/	/	/
清掃後(μΩ)	/	/	/	/
ワイブ(mm)	/	/	/	/
接触圧力(N)	/	/	/	/

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A1000																															
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A1000-1000AT																															
Dev. No.	52F11	製造年月	-																															
回路名称	一般動力 D	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)																															
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台																																		
分類	点検項目		点検種類	総合結果																														
一般点検	1	塵埃の有無	普通 ○	A																														
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	△※1																															
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○																															
	4	開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○																															
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A																														
	2	ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○																															
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○																															
	4	リンクに異常(摩擦)はないか	○																															
	5	モーターに油漏れはないか	○																															
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○																															
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○																															
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○																															
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○																															
	10	潤滑油の状態は良いか	○																															
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A																														
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○																															
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態は良いか	○																															
	4	主キャッチの掛かりに異常はないか	○																															
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○																															
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○																															
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/																															
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	/																															
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: N)	/																															
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/																															
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○																															
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	/																															
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A																														
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○																															
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○																															
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	/																															
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A																														
最終点検	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A																														
	2	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○																															
	3	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○																															
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。																																		
総合結果:A A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)																																		
備考(点検結果詳細等) ※ 制御回路端子カバーなし (継続) ※1:下部コンタクトの絶縁カバー(プレスボード製)にひび割れがあります。継続使用は可能と考えます。																																		
<作業前状態> ON (OFF) (接続) ・ 断路																																		
絶縁抵抗測定(MΩ)																																		
R-E	100	R-S	100	R-N	/																													
S-E	100	S-T	100	S-N	/																													
T-E	100	T-R	100	T-N	/																													
N-E	/	/	/	制御	100																													
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R</td> <td>S</td> <td>T</td> <td>N</td> </tr> <tr> <td>端子間抵抗</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>清掃前(μΩ)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>清掃後(μΩ)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>ワイブ(mm)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>接触圧力(N)</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table>				R	S	T	N	端子間抵抗	/	/	/	/	清掃前(μΩ)	/	/	/	/	清掃後(μΩ)	/	/	/	/	ワイブ(mm)	/	/	/	/	接触圧力(N)	/	/	/	/
	R	S	T	N																														
端子間抵抗	/	/	/	/																														
清掃前(μΩ)	/	/	/	/																														
清掃後(μΩ)	/	/	/	/																														
ワイブ(mm)	/	/	/	/																														
接触圧力(N)	/	/	/	/																														

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A1000
設置場所	低圧閉鎖記電盤	定格	A1000-1000AT
Dev. No.	52F12	製造年月	--
回路名称	一般動力 A	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9 トリップカに異常はないか (測定値: _____ N)	△	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
部品	部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか(確認後、グリス塗布(引出形のみ))	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

〈作業前状態〉 ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△			制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A1000
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A1000-1000AT
Dev. No.	52F13	製造年月	—
回路名称	一般動力 B	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類 普通	総合 結果
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩耗)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよい	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ標、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	○	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	○	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	○	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	○	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか(確認後、グリス塗布(引出形のみ))	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

※ 制御回路端子カバーなし (継続)

・補助リレーカバー(アクリルケース)にヒビが入っています。(継続)

・上部端子部カバーに亀裂が見られます。(継続)

〈作業前状態〉 ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	100
S-E	100	S-T	100	S-N	100
T-E	100	T-R	100	T-N	100
N-E				制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	○	○	○	○
清掃前(μΩ)	○	○	○	○
清掃後(μΩ)	○	○	○	○
ワイブ(mm)	○	○	○	○
接触圧力(N)	○	○	○	○

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A600
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A600-600AT
Dev. No.	52F14	製造年月	-
回路名称	一般動力 C	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
		普通	
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	△※1	
	4 閉鎖操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、ほんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩耗)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	/	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	/	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	/	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	/	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果: A

A: 良好(異常なし) B: 不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

※1: 固定側、下部黒相のコンタクトガイドが破損しています。(継続)

〈作業前状態〉 ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	/
S-E	100	S-T	100	S-N	/
T-E	100	T-R	100	T-N	/
N-E	/			制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	/	/	/	/
清掃前(μΩ)	/	/	/	/
清掃後(μΩ)	/	/	/	/
ワイブ(mm)	/	/	/	/
接触圧力(N)	/	/	/	/

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A100			
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A100-100AT			
Dev. No.	52F15	製造年月	-			
回路名称	海保動力	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)			
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台						
分類	点検項目		点検種類	総合結果		
			普通			
一般点検	1	塵埃の有無	○	A		
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○			
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○			
	4	開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○			
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A		
	2	ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○			
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○			
	4	リンクに異常(摩耗)はないか	○			
	5	モーターに油漏れはないか	○			
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○			
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○			
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○			
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○			
	10	潤滑油の状態は良いか	○			
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	△	△		
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	△			
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	△			
	4	主キャッチの掛かりに異常はないか	△			
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	△			
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押しでトリップ出来るか	△			
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△			
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△			
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△			
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△			
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△			
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△			
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A		
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○			
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○			
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○			
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A		
最終点検	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A		
	2	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○			
	3	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○			
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。						
総合結果:A A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)						
備考(点検結果詳細等) ※ 差込形(固定式)のため、一部省略致しました。						
(作業前状態) ON・OFF (接続)・断路						
絶縁抵抗測定(MΩ)						
R-E	R-S	R-N				
S-E	S-T	S-N				
T-E	T-R	T-N				
N-E						
			R	S	T	N
端子間抵抗						
清掃前(μΩ)						
清掃後(μΩ)						
ワイブ(mm)						
接触圧力(N)						

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A600
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A600-600AT
Dev. No.	52F16	製造年月	-
回路名称	屋外プール	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 閉鎖操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態は良いか	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	/	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	/	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	/	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	/	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	/	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

〈作業前状態〉 ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	/
S-E	100	S-T	100	S-N	/
T-E	100	T-R	100	T-N	/
N-E	/			制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	/	/	/	/
清掃前(μΩ)	/	/	/	/
清掃後(μΩ)	/	/	/	/
ワイブ(mm)	/	/	/	/
接触圧力(N)	/	/	/	/

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A100
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A100-100AT
Dev. No.	52F21	製造年月	-
回路名称	海保電灯	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
一般点検	1 塵埃の有無	普通	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩耗)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	△	△
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	△	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態は良いか	△	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	△	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	△	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	△	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	△	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	C
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	×※1	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果: A
A: 良好(異常なし) B: 不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)
※ 差込形(固定式)のため、一部省略致しました。
※1 復電時、投入不良により復電できず(現在、きんでん殿により復旧済。)

〈作業前状態〉 ON・OFF (接線)・断路			
絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	R-S	R-N	
S-E	S-T	S-N	
T-E	T-R	T-N	
N-E			

	R	S	T	N
端子間抵抗	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A225	
設置場所	低圧閉鎖記電盤	定格	A225-225AT	
Dev. No.	52F22	製造年月	-	
回路名称	屋外レストラン	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)	
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台				
分類	点検項目		点検種類	総合結果
			普通	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4	開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2	ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4	リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5	モーターに油漏れはないか	○	
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10	潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	△	△
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	△	
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	△	
	4	主キャッチの掛かりに異常はないか	△	
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	△	
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	△	
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△	
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	B
	2	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	△※1	
	3	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。				
総合結果: A A: 良好(異常なし) B: 不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)				
備考(点検結果詳細等) ※ 差込形(固定式)のため、一部省略致しました。 ※1 復電時、投入不良により手動操作にて投入しました。(次回投入可能かは不明)				
<作業前状態> ON ● OFF ○ (接続) ・ 断路				
絶縁抵抗測定(MΩ)				
R-E	R-S	R-N		
S-E	S-T	S-N		
T-E	T-R	T-N		
N-E				
端子間抵抗	R	S	T	N
清掃前(μΩ)	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A1000		
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A1000-1000AT		
Dev. No.	52F23	製造年月	-		
回路名称	一般電灯	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)		
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台					
分類	点検項目		点検種類	総合結果	
			普通		
一般点検	1	塵埃の有無	○	A	
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○		
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○		
	4	開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○		
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A	
	2	ネジの緩み、ほんだ付、Eリングは良いか	○		
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○		
	4	リンクに異常(摩耗)はないか	○		
	5	モーターに油漏れはないか	○		
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○		
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○		
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○		
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○		
	10	潤滑油の状態は良いか	○		
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A	
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○		
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○		
	4	主キャッチの掛かりに異常はないか	○		
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○		
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押ししてトリップ出来るか	○		
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△		
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△		
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△		
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△		
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○		
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△		
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A	
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○		
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○		
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	△		
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A	
最終点検	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A	
	2	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○		
	3	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○		
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。					
総合結果:A A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)					
備考(点検結果詳細等) ----- ----- ----- -----					
<作業前状態> ON・OFF (接続)・断路					
絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△			制御	100
端子間抵抗	△	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A1000		
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A1000-1000AT		
Dev. No.	52F24	製造年月	-		
回路名称	屋外配電棟	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)		
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台					
分類	点検項目		点検種類	総合結果	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A	
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○		
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○		
	4	開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○		
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A	
	2	ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○		
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○		
	4	リングに異常(摩耗)はないか	○		
	5	モーターに油漏れはないか	○		
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○		
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○		
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○		
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○		
	10	潤滑油の状態は良いか	○		
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A	
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○		
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○		
	4	主ギャッチの掛かりに異常はないか	○		
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○		
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○		
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△		
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△		
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△		
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△		
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○		
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△		
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A	
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○		
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○		
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	△		
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A	
最終点検	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A	
	2	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○		
	3	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○		
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。					
総合結果:A A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)					
備考(点検結果詳細等)					
----- ----- ----- -----					
<作業前状態> ON・OFF (接続)・断路					
絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△			制御	100
端子間抵抗		R	S	T	N
清掃前(μΩ)		△	△	△	△
清掃後(μΩ)		△	△	△	△
ワイブ(mm)		△	△	△	△
接触圧力(N)		△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A1000
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A1000-1000AT
Dev. No.	52F25	製造年月	—
回路名称	所内・非常回路	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類	総合結果
		普通	
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩耗)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

(作業前状態) ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△			制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A800
設置場所	低圧閉鎖記電盤	定格	A800-800AT
Dev. No.	52F26	製造年月	-
回路名称	EV動力	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類 普通	総合 結果
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、ほんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	△	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか(確認後、グリス塗布(引出形のみ))	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

〈作業前状態〉 ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△			制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A600		
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A600-600AT		
Dev. No.	52C1	製造年月	-		
回路名称	SC主幹1号	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)		
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…婁面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台					
分類	点検項目		点検種類 普通	総合 結果	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A	
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○		
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	△※1		
	4	閉開操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○		
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A	
	2	ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○		
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○		
	4	リンクに異常(摩耗)はないか	○		
	5	モーターに油漏れはないか	○		
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○		
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○		
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○		
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○		
	10	潤滑油の状態は良いか	○		
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A	
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○		
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	○		
	4	主キャッチの掛かりに異常はないか	○		
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○		
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○		
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△		
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△		
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△		
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△		
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○		
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△		
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A	
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○		
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○		
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	△		
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A	
最終点検	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A	
	2	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○		
	3	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○		
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。					
総合結果:A A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)					
備考(点検結果詳細等) ※1:固定側、下部黒相のコンタクトガイドが破損しています。(継続)					
(作業前状態) ON・OFF (接続)・断路					
絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△	△	△	制御	100
端子間抵抗	△	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A600
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A600-600AT
Dev. No.	52C2	製造年月	-
回路名称	SC主幹2号	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)

付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置
B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台

分類	点検項目	点検種類 普通	総合 結果
一般点検	1 塵埃の有無	○	A
	2 モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3 端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2 ネジの緩み、はんだ付、Eリングは良いか	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4 リンクに異常(摩耗)はないか	○	
	5 モーターに油漏れはないか	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1 通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	○	A
	2 接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3 可動部に異常はないか、潤滑油の状態は良いか	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	6 トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	○	
	7 接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: N)	△	
	10 端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1 警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2 補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	△	
部品	1 部品、ネジに異常はないか	○	A
最終点検	1 ネジの締付け、記録に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A
	2 電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	
	3 断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

<作業前状態> ON・OFF (接続)・断路

絶縁抵抗測定(MΩ)					
R-E	100	R-S	100	R-N	△
S-E	100	S-T	100	S-N	△
T-E	100	T-R	100	T-N	△
N-E	△			制御	100

	R	S	T	N
端子間抵抗	△	△	△	△
清掃前(μΩ)	△	△	△	△
清掃後(μΩ)	△	△	△	△
ワイブ(mm)	△	△	△	△
接触圧力(N)	△	△	△	△

配線用遮断器点検結果

設備名	22kV 受変電設備	形式	A400	
設置場所	低圧閉鎖配電盤	定格	A400-400AT	
Dev. No.	52GB	製造年月	-	
回路名称	自家用発電機	付属品	A・S・D・V(DC100V)・E(DC100V)	
付属品記号説明: A…補助接点 S…警報接点 V…電圧引外し装置 L…不足電圧引外し装置 B…裏面端子 D…引出形 E…電動操作装置 W…内部付属品用端子台				
分類	点検項目		点検種類	総合結果
			普通	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4	開閉操作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	
電動操作機構	1	ストロークに異常はないか(ON/OFF/RESET)	○	A
	2	ネジの緩み、ほんだ付、Eリングは良いか	○	
	3	モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	○	
	4	リンクに異常(摩擦)はないか	○	
	5	モーターに油漏れはないか	○	
	6	リレーの接触子に異常はないか、クリーナーによる清掃実施	○	
	7	リミットスイッチの切替は良いか	○	
	8	コンデンサに異常はないか(DCのみ)	○	
	9	ブレーキのギャップに異常はないか	○	
	10	潤滑油の状態は良いか	○	
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか ※引出形の断路部は特に注意	△	△
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	△	
	3	可動部に異常はないか、潤滑油の状態はよいか	△	
	4	主キャッチの掛かりに異常はないか	△	
	5	消弧装置に異常(アーク痕など)はないか、クリーナーによる清掃実施	△	
	6	トリップ桿、インスタントアマチュアを押してトリップ出来るか	△	
	7	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	△	
	8	接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	△	
	9	トリップ力に異常はないか (測定値: _____ N)	△	
	10	端子間抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	11	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	△	
	12	各種特性は判定値以内か (電子式のみ、別紙記録表へ記入)	△	
付属品	1	警報スイッチの動作に異常はないか	○	A
	2	補助スイッチの動作に異常はないか	○	
	3	電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
	4	不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか	○	
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A
	2	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	
最終点検	1	電動操作機構の動作確認(ON/OFF/RESETの停止位置確認)	○	A
	2	断路部への異物の混入、付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)	○	
	3		○	
点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。				
総合結果:A A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)				
備考(点検結果詳細等) ※ 差込形(固定式)のため、一部省略致しました。				
<作業前状態> ON・OFF(接続)・断路				
絶縁抵抗測定(MΩ)				
R-E	R-S	R-N		
S-E	S-T	S-N		
T-E	T-R	T-N		
N-E				
端子間抵抗	R	S	T	N
清掃前(μΩ)				
清掃後(μΩ)				
ワイブ(mm)				
接触圧力(N)				

低圧電磁接触器点検結果

Dev. No.	88C11	形式	CA533-JAT
製造年月	1972年3月	定格	440V-500A
回路名称	No. 1コンデンサ 200kVA SC		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4	開閉動作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	/	
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか	○	A
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	4	接触子のギャップは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	5	三相同時差は良いか (0.3mm以下)	/	
	6	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A
最終	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

- ・裏扉No. 9の上部ダクトカバー無し 1ヶ
 - ・裏扉No. 8の下側端子台カバー無し 左側 赤相 1ヶ
 - ・裏扉No. 6の下側端子台カバー無し 左側最下 1ヶ
 - ・裏扉No. 4の下側端子台カバー無し 上中央 TX-2 1ヶ カバーなし 1ヶ
- } H25年度より継続

R-E	47	R-S	/
S-E	47	S-T	/
T-E	47	T-R	/

(mm)	R	S	T
ワイブ	/	/	/
ギャップ	/	/	/
三相同時差	/		

低圧電磁接触器点検結果

Dev. No.	88C12	形式	CA531-JAT
製造年月	1972年3月	定格	440V-500A
回路名称	No. 1コンデンサ 100kVA SC		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4	開閉動作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	/	
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか	○	A
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	4	接触子のギャップは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	5	三相同時差は良いか (0.3mm以下)	/	
	6	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A
最終	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A

点検結果の記号: ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

絶縁抵抗測定 (MΩ)			
R-E	100	R-S	/
S-E	100	S-T	/
T-E	100	T-R	/

(mm)	R	S	T
ワイブ	/	/	/
ギャップ	/	/	/
三相同時差	/		

低圧電磁接触器点検結果

Dev. No.	88C21	形式	CA533-JAT
製造年月	1972年3月	定格	440V-500A
回路名称	No. 2コンデンサ 200kVA SC		

分類	点検項目		点検種別	総合結果
			普通	
一般点検	1	塵埃の有無	○	A
	2	モールドケースに亀裂、変色、破損はないか	○	
	3	端子に異常はないか(緩み、変色)	○	
	4	開閉動作に異常はないか(ON/OFF/RESET)	/	
本体	1	通電部に異常(変色、異物など)はないか	○	A
	2	接触子に異常(偏摩耗、変色など)はないか	○	
	3	接触子のワイブは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	4	接触子のギャップは良いか (実測値を下記へ記入)	/	
	5	三相同時差は良いか (0.3mm以下)	/	
	6	主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	○	
部品	1	部品、ネジに異常はないか	○	A
最終	1	ネジの締付け、配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)	○	A

点検結果の記号：○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果:A

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

備考(点検結果詳細等)

絶縁抵抗測定(MΩ)			
R-E	53	R-S	/
S-E	53	S-T	/
T-E	53	T-R	/

(mm)	R	S	T
ワイブ	/	/	/
ギャップ	/	/	/
三相同時差	/		

コンデンサ・リアクトル点検結果

系統名称	総容量	定格電圧	周波数
コンデンサNo. 1	300kVA	440V	50Hz

区分	No.	製造者名	型式	容量	試験番号	組立番号	製造年月	特記事項
SC	1	(株)東芝	SRT-AIARI	50kVA	71504792	327038	1971.7	
	2	"	"	"	71504793	"	"	
	3	"	"	"	71504794	"	"	
	4	"	"	"	71504795	"	"	
	5	"	"	"	71504790	"	"	
	6	"	"	"	71504791	"	"	
	7	"	"	"	71504788	"	"	
	8	"	"	"	71504789	"	"	
SR	1	(株)東芝	XTR-SM1D	12kVA	71032205	365462-S	1971.6	

項目	点検内容	点検結果		備考
		コンデンサ	リアクトル	
	絶縁油の漏れはないか	○	○	
	容器の発錆、塗装の剥離はないか	○	○	
	碍子破損、汚損、アークの痕跡はないか	○	○	
	碍子及び端子の緩み、変色、変形はないか	○	○	
	容器の異常膨張、変形はないか	△	○	※1
	異常な音、臭いはないか	○	○	
	油面計のレベルは正常か		○	
	吸湿呼吸器のオイル、シリカゲルは			
	接地線の接続状態は良いか	○	○	
	温度計の指示は良いか		17°C	

点検結果の記号： ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果：B

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

点検前の目視調査

・前面(リアクトル)アクリルカバー左側下部破損箇所あり(継続)

・端子台カバー2枚無し(継続)

※1 コンデンサ本体に膨らみが全体的に見られます。(継続)

コンデンサ・リアクトル点検結果

系統名称	総容量	定格電圧	周波数
コンデンサNo. 2	300kVA	440V	50Hz

区分	No.	製造者名	型式	容量	試験番号	組立番号	製造年月	特記事項
SC	1	㈱東芝	SRT-AIARI	50kVA	71504796	327038	1971.7	
	2	"	"	"	71504797	"	"	
	3	"	"	"	71504798	"	"	
	4	"	"	"	71504799	"	"	
SR	1	㈱東芝	XTR-SM1D	12kVA	71032206	365462-S	1971.6	

項目	点検内容	点検結果		備考
		コンデンサ	リアクトル	
	絶縁油の漏れはないか	○	○	
	容器の発錆、塗装の剥離はないか	○	○	
	碍子破損、汚損、アークの痕跡はないか	○	○	
	碍子及び端子の緩み、変色、変形はないか	○	○	
	容器の異常膨張、変形はないか	△	○	※1
	異常な音、臭いはないか	○	○	
	油面計のレベルは正常か	/		
	吸湿呼吸器のオイル、シリカゲルは	/		
	接地線の接続状態は良いか	○	○	
	温度計の指示は良いか	/		16°C

点検結果の記号： ○異常なし △要注意 ×不良 △×については備考欄を参照下さい。

総合結果：B

A:良好(異常なし) B:不具合1(現状はよいが次回補修を要する) C:不具合2(今回は応急処置、直ちに補修を要する)

点検前の目視調査

※前面(リアクトル)アクリルカバー左側下部破損箇所あり (継続)

※端子台カバー4枚無し、蛍光灯端子台カバーなし (継続)

※1 コンデンサ本体に膨らみが全体的に見られます。(継続)

過電流継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	受電用	受電用	受電用		
器番	51R-1	51R-2	51R-3		
製造者名	東芝	東芝	東芝		
型式	ICO1D-AT2H	ICO1D-AT2H	ICO1D-AT2H		
製造番号	6511059FM1 -1	6511059FM1 -2	3952050FVV3 -M31-1		
製造年月	1973	1973	1974		

整定値 (定格)	T:4 L:3 H:20	T:4 L:3 H:20	T:4 L:3 H:20		
1-1. 最小動作(A) 限時要素	4.00	4.02	4.05		
判定基準	タップ値 ±5% (3.8 ~ 4.2)				
1-2. 動作時間(ms)	1.041 ~1.043	1.011 ~1.012	1.065 ~1.069		
判定基準(T×500%)	L=1の場合 0.4秒±7% (0.372 ~ 0.428S) にLタップの倍数				
2-1. 最小動作(A) 瞬時要素	18.6	18.1	19.5		
判定基準	タップ値 ±10% (18 ~ 22)				
2-2. 動作時間(ms)	34 ~38	31 ~34	31 ~37		
判定基準	瞬時動作 タップ値×200% (50ms以下)				
3 ・ 構造 点 検	ケース、バッキン、絶縁物の状態	○	○	○	
	端子締付、配線状態・発熱有無	○	○	○	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	
	点検ボタンによる動作は良好か	-	-	-	
	表示器の動作、復帰は良好か	○※1	○※1	○※1	
4. 総合判定	○	○	○		

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 -:該当なし

※1:瞬時要素接点の接触抵抗が高くなっていました。(清掃・手入れ後、良好)

所見欄

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

過電流継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	主変2次No.1	主変2次No.1	主変2次No.1		
器番	51S1-1	51S1-2	51S1-3		
製造者名	東芝	東芝	東芝		
型式	ICO1D-AT1	ICO1D-AT1	ICO1D-AT1		
製造番号	3901125FV21 -M17-1	3901125FV21 -M17-2	3901125FV21 -M17-3		
製造年月	1972	1972	1972		

整定値 (定格)	T:4 L:1 H:-	T:4 L:1 H:-	T:4 L:1 H:-		
1-1. 最小動作(A) 限時要素	4.05	4.02	4.02		
判定基準	タップ値 ±5% (3.8 ~ 4.2)				
1-2. 動作時間(ms)	397 ~403	411 ~413	389 ~399		
判定基準(T×500%)	L=1の場合 0.4秒±7% (0.372 ~ 0.428S)にLタップの倍数				
2-1. 最小動作(A) 瞬時要素					
判定基準					
2-2. 動作時間(ms)					
判定基準					
3 ・ 構造 点 検	ケース、バッキン、絶縁物の状態	○	○	○	
	端子締付、配線状態・発熱有無	○	○	○	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	
	点検ボタンによる動作は良好か	-	-	-	
	表示器の動作、復帰は良好か	○	○	○	
4. 総合判定	○	○	○		

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 -:該当なし

所見欄

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

過電流継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	主変2次No.2	主変2次No.2	主変2次No.2		
器番	51S2-1	51S2-2	51S2-3		
製造者名	東芝	東芝	東芝		
型式	IC01D-AT1	IC01D-AT1	IC01D-AT1		
製造番号	3901125FV21 -M17-4	3901125FV21 -M17-5	3901125FV21 -M17-6		
製造年月	1972	1972	1972		
整定値 (定格)	T:4 L:1 H:-	T:4 L:1 H:-	T:4 L:1 H:-		
1-1. 最小動作(A) 限時要素	3.98	4.03	4.02		
判定基準	タップ値 ±5% (3.8 ~ 4.2)				
1-2. 動作時間(ms)	406 ~407	406 ~407	412 ~413		
判定基準(T×500%)	L=1の場合 0.4秒±7% (0.372 ~ 0.428S) にLタップの倍数				
2-1. 最小動作(A) 瞬時要素					
判定基準					
2-2. 動作時間(ms)					
判定基準					
3 ・ 構造 点 検	ケース、パッキン、絶縁物の状態	○	○	○	
	端子締付、配線状態・発熱有無	○	○	○	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	
	点検ボタンによる動作は良好か	—	—	—	
	表示器の動作、復帰は良好か	○	○	○	
4. 総合判定	○	○	○		

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 —:該当なし

所見欄

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

地絡過電流継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	受電用	中性点用	中性点用		
器番	51GR	51N	51G		
製造者名	東芝	東芝	東芝		
型式	ICG1D-BT1	ICG2D-AG1	ICG1D-BG1		
製造番号	3901125FV21 -M16	3901125FV21 -M22	3901125FV21 -M23		
製造年月	1972	1972	1972		

整定値 (定格)	T:1.5 L:0.5(固定)	T:1 L:6.5	T:0.1 L:0.5(固定)		
1-1. 最小動作(A) 限時要素	1.54	1.05	0.10		
判定基準	T値±5%	T値±10%	T値±10%		
1-2. 動作時間(ms)	450 ~595	2421 ~2433	423 ~424		
判定基準(T×500%)	0.35~0.45S	0.4S±10%	L=10にて4.0S±15%		
3 ・ 構造 点 検	ケース、バッキン、絶縁物の状態	○	○	○	
	端子締付、配線状態・弛緩有無	△※1	○	○	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	
	点検ボタンによる動作は良好か	—	—	—	
	表示器の動作、復帰は良好か	○	○	○	
4. 総合判定	○	○	○		

所見欄

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 —:該当なし
 51GR:円盤側の接点にぐらつきがあります。
 (動作値に問題はありませんが、動作時間が管理値から外れています。
 早めに取替を推奨します。)

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

不足電圧継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	主変2次No.1	主変2次No.2	No.1母線	No.2母線	
器番	27S1	27S2	27B1	27B2	
製造者名	東芝	東芝	東芝	東芝	
型式	IVU1D-AG1	IV01D-AG1	IV01D-AG1	IV01D-AG1	
製造番号	3901125FV21 -M19-1	3901125FV21 -M19-2	3901125FV21 -M19-3	3901125FV21 -M19-4	
製造年月	1972	1972	1972	1972	

整定値 (定格)	T:82V L:5	T:82V L:5	T:82V L:5	T:82V L:5	
1. 最小動作(V)	80.5	81.3	80.8	80.8	
判定基準	タップ値の±5% (77.9~86.1V)				
2. 動作時間(ms)	2695 ~2738	2663 ~2667	2693 ~2715	2610 ~2625	
判定基準	L=5において定格電圧→0Vにて2.5S±10% (2.25~2.75S)				
3 ・ 構造 点 検	ケース、パッキン、絶縁物の状態	○	○	○	○
	端子締付、配線状態・発熱有無	△※1	○	○	○
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	○
	点検ボタンによる動作は良好か	-	-	-	-
	表示器の動作、復帰は良好か	○	○	○	○
4. 総合判定	○	○	○	○	

所見欄	<p><判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 -:該当なし 27S1:円盤側の接点にぐらつきがあります。 動作値に動作時間に問題はありませんが、早めの取替を推奨します。</p>

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

過電圧継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	No.1母線用	No.2母線用			
器番	59B1	59B2			
製造者名	東芝	東芝			
型式	IV01D-AG1	IV01D-AG1			
製造番号	3901125FV21 -M18-1	3901125FV21 -M18-2			
製造年月	1972	1972			

整定値 (定格)	T:120V L:1	T:120V L:1			
1. 最小動作(V)	121.5	120.5			
判定基準	タップ値の±5% (114~126V)				
2. 動作時間(ms)	996 ~1.006	1021 ~1026			
判定基準	150%にて1. 1S±10% (0.99~1.21S)				
3 ・ 構造 点 検	ケース、バッキン、絶縁物の状態	○	○		
	端子締付、配線状態・発熱有無	○	○		
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○		
	点検ボタンによる動作は良好か	-	-		
	表示器の動作、復帰は良好か	○	○		
4. 総合判定	○	○			

所見欄	<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 -:該当なし

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

過電圧継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	発電機				
器番	59				
製造者名	日立				
型式	IV-AC-3R				
製造番号	P35941				
製造年月	2001				

整定値 (定格)	T:135V L:2				
1. 最小動作(V)	136.0				
判定基準	タップ値の±5% (128.3~141.7V)				
2. 動作時間(ms)	749 ~752				
判定基準	150%にて0.7S±10% (0.63~0.77S)				
3 ・ 構造 点 検	ケース、パッキン、絶縁物の状態	○			
	端子締付、配線状態・発錆有無	○			
	タップの損傷、ゆるみ有無	○			
	点検ボタンによる動作は良好か	—			
	表示器の動作、復帰は良好か	○			
4. 総合判定	○				

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 —:該当なし

所見欄

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

地絡(過電圧)継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	母線用	母線用	母線用		
器番	64V-11	64V-12	64V-13		
製造者名	東芝	東芝	東芝		
型式	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1		
製造番号	3901125FV21 -M21-1	T850382VT95 05-M700	T810624FM1		
製造年月	1972-2	1992-8	1983-1		

整定値 (定格)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)		
1. 最小動作電流[A] V ₀ :63.5V φ:0°	20.0	20.0	20.2		
判定基準	タップ値 ±5% (19~21mA)				
2. 動作位相[°] V ₀ :63.5V 0.1A	lag: 60.0°	lag: 60.0°	lag: 60.0°	lag: °	lag: °
	lead: 280.0°	lead: 280.0°	lead: 280.0°	lead: °	lead: °
判定基準	lag: 74° ±5° (69.0~79°) ・ 276° ±5° (271.0~281.0°)				
3. 動作時間[ms] (反転不動作)	1323 ~1340	1559 ~1569	1643 ~1680		
	○	○	○		
判定基準	V ₀ :63.5V φ:0° I ₀ :60mAにて 1.5S±0.2S(1.3~1.7S)				
4. クリーピング確認	○	○	○		
判定基準	V ₀ :63.5V I ₀ :0Aにて不動作				
3 ・ 構 造 点 検	ケース、ハッキン、絶縁物の状態	○	○	○	
	端子締付、配線状態・発熱有無	△※1	△※1	△※1	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	
	点検ボタンによる動作は良好か	—	—	—	
	表示器の動作、復帰は良好か	—	—	—	
絶縁抵抗測定[MΩ]	100	100	100		
4. 総合判定	○	○	○		

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 —:該当なし
 ※1:V₀電圧回路用配線被覆にひび割れが来ています。
 動作位相値が管理値から外れています。

所見欄

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

地絡(過電圧)継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	母線用	母線用	母線用		
器番	64V-21	64V-22	64V-23		
製造者名	東芝	東芝	東芝		
型式	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1		
製造番号	3901125FV21 -M21-4	3901125FV21 -M21-5	3901125FV21 -M21-6		
製造年月	1972-2	1972-2	1972-2		

整定値 (定格)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)		
1. 最小動作電流[A] V ₀ :63.5V φ:0°	21.5	20.0	20.5		
判定基準	タップ値 ±5% (19~21mA)				
2. 動作位相[°] V ₀ :63.5V 0.1A	lag: 60.0°	lag: 60.0°	lag: 60.0°	lag: °	lag: °
	lead: 279.0°	lead: 279.0°	lead: 280.0°	lead: °	lead: °
判定基準	lag:74° ±5° (69.0~79°) ・ 276° ±5° (271.0~281.0°)				
3. 動作時間[ms] (反転不動作)	1676 ~1682	1477 ~1517	1338 ~1439		
	○	○	○		
判定基準	V ₀ :63.5V φ:0° I ₀ :60mAにて 1.5S±0.2S(1.3~1.7S)				
4. クリーピング確認	○	○	○		
判定基準	V ₀ :63.5V I ₀ :0Aにて不動作				
3 ・ 構造 点 検	ケース、バック、絶縁物の状態	○	○	○	
	端子締付、配線状態・発熱有無	△※1	△※1	△※1	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	
	点検ボタンによる動作は良好か	-	-	-	
	表示器の動作、復帰は良好か	-	-	-	
	絶縁抵抗測定[MΩ]	100	100	100	
4. 総合判定	○	○	○		

所見欄

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 -:該当なし
 ※1:V₀電圧回路用配線被覆にひび割れが来ています。
 動作位相値が管理値から外れています。

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

地絡方向継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	冷凍機動力	一般動力A	一般動力B	一般動力C	海保動力
器番	67F11	67F12	67F13	67F14	67F15
製造者名	東芝	東芝	東芝	東芝	東芝
型式	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1
製造番号	3901125FV21 -M20-1	3901125FV21 -M20-2	3901125FV21 -M20-3	3901125FV21 -M20-4	3901125FV21 -M20-5
製造年月	1972-4	1972-4	1972-2	1972-2	1972-2
整定値 (定格)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)
1. 最小動作電流[A] V ₀ :63.5V φ:0°	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
判定基準	タップ値 ±5% (19~21mA)				
2. 動作位相[°] V ₀ :63.5V 0.1A	lag: 60.0° lead: 280.0°	lag: 60.0° lead: 280.0°	lag: 60.0° lead: 280.0°	lag: 60.0° lead: 280.0°	lag: 60.0° lead: 280.0°
判定基準	lag:74° ±5° (69.0~79°) ・ 276° ±5° (271.0~281.0°)				
3. 動作時間[ms] (反転不動作)	1418 ~1553 ○	1431 ~1442 ○	1510 ~1519 ○	1540 ~1551 ○	1486 ~1487 ○
判定基準	V ₀ :63.5V φ:0° I ₀ :60mAにて 1.5S±0.2S(1.3~1.7S)				
4. クリーピング確認	○	○	○	○	○
判定基準	V ₀ :63.5V I ₀ :0Aにて不動作				
3 構造点検	ケース、パッキン、絶縁物の状態	○	○	○	○
	端子締付、配線状態、残積有無	△※1	△※1	○	△※1
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○	○	○
	点検ボタンによる動作は良好か	—	—	—	—
	表示器の動作、復帰は良好か	—	—	—	—
絶縁抵抗測定(MΩ)	100	100	100	100	100
4. 総合判定	○	○	○	○	○

所見欄	<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 —:該当なし
	※1:V ₀ 電圧回路用配線被覆にひび割れが来ています。 動作位相値が管理値から外れています。

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

地絡方向継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	屋外プール	海保電灯	屋外レストラン	一般電灯	屋外配電棟
器番	67F16	67F21	67F22	67F23	67F24
製造者名	東芝	東芝	東芝	東芝	東芝
型式	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1
製造番号	3901125FV21 -M20-6	3901125FV21 -M20-7	3901125FV21 -M20-8	3901125FV21 -M20-9	3901125FV21 -M20-10
製造年月	1972-2	1972-2	1972-2	1972-2	1972-2

整定値 (定格)	20mA (63.5V・1A)		20mA (63.5V・1A)		20mA (63.5V・1A)		20mA (63.5V・1A)		20mA (63.5V・1A)		
1. 最小動作電流[A] V ₀ :63.5V φ:0°	20.0		20.0		20.0		20.0		20.0		
判定基準	タップ値 ±5% (19~21mA)										
2. 動作位相[°] V ₀ :63.5V 0.1A	lag	60.0°	lag	60.0°	lag	60.0°	lag	60.0°	lag	60.0°	
	lead	280.0°	lead	280.0°	lead	280.0°	lead	280.0°	lead	280.0°	
判定基準	lag: 74° ±5° (69.0~79°) ・ 276° ±5° (271.0~281.0°)										
3. 動作時間[ms] (反転不動作)	1474 ~1480		1642 ~1644		1494 ~1507		1499 ~1503		1479 ~1480		
	○		○		○		○		○		
判定基準	V ₀ :63.5V φ:0° I ₀ :60mAにて 1.5S±0.2S(1.3~1.7S)										
4. クリーピング確認	○		○		○		○		○		
判定基準	V ₀ :63.5V I ₀ :0Aにて不動作										
3 ・ 構造 点 検	ケース、ハッキン、絶縁物の状態	○		○		○		○		○	
	端子締付、配線状態・発熱有無	△※1		△※1		△※1		△※1		△※1	
	タップの損傷、ゆるみ有無	○		○		○		○		○	
	点検ボタンによる動作は良好か	-		-		-		-		-	
	表示器の動作、復帰は良好か	-		-		-		-		-	
絶縁抵抗測定[MΩ]	100		100		100		100		100		
4. 総合判定	○		○		○		○		○		

<判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 -:該当なし
 ※1:V₀電圧回路用配線被覆にひび割れが来ています。
 動作位相値が管理値から外れています。

所見欄

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

地絡方向継電器試験報告書

点検種別 A

設置場所	所内及び非常回路	エレベーター動力			
器番	67F25	67F26			
製造者名	東芝	東芝			
型式	IDG10D-EG1	IDG10D-EG1			
製造番号	3901125FV21 -M20-11	3901125FV21 -M20-12			
製造年月	1972-2	1972-2			

整定値 (定格)	20mA (63.5V・1A)	20mA (63.5V・1A)			
1. 最小動作電流[A] V ₀ :63.5V φ:0°	20.0	20.0			
判定基準	タップ値 ±5% (19~21mA)				
2. 動作位相[°] V ₀ :63.5V 0.1A	lag: 60.0° lead: 280.0°	lag: 60.0° lead: 280.0°	lag: lead:	lag: lead:	lag: lead:
判定基準	lag:74° ±5° (69.0~79°) ・ 276° ±5° (271.0~281.0°)				
3. 動作時間[ms] (反転不動作)	1437 ~1439 ○	1496 ~1505 ○			
判定基準	V ₀ :63.5V φ:0° I ₀ :60mAにて 1.5S±0.2S(1.3~1.7S)				
4. クリーピング確認	○	○			
判定基準	V ₀ :63.5V I ₀ :0Aにて不動作				
3 ・ 構造 点 検	ケース、パッキン、絶縁物の状態	○	○		
	端子締付、配線状態・発熱有無	△※1	△※1		
	タップの損傷、ゆるみ有無	○	○		
	点検ボタンによる動作は良好か	—	—		
	表示器の動作、復帰は良好か	—	—		
絶縁抵抗測定[MΩ]	100	100			
4. 総合判定	○	○			

所見欄	<p><判定基準> ○:異常なし △:要注意 ×:不良 —:該当なし</p> <p>※1:V₀電圧回路用配線被覆にひび割れが来ています。</p> <p>動作位相値が管理値から外れています。</p>

不良内容は一連番号順に所見欄に記入する。

操作卓点検報告書

設 備 名		保護継電器	電力量計	電力監視	動力監視	中央監視
盤 型 式						
製 造 番 号		3901125FV21-22				
製 造 年 月		1972-3				
製 造 者		東芝				

点 検 箇 所		保護継電器	電力量計	電力監視	動力監視	中央監視
全般	盤内外の点検・清掃	○	/	○	○	○
	操作ハンドルの取付け状態	/	/	○	/	/
	メーター類の取付け状態	/	/	○	/	/
	状態表示ランプの取付け状態	/	/	△ ※1	○	/
	押ボタンスイッチの取付け状態	/	/	○	○	○
	ミニクブス等の取付け状態	/	/	○	○	○
	補助リレーの取付け状態	/	/	○	○	○
	各部損傷の有無	○	/	○	△ ※2	○
制御ケーブル	端末部	/	/	/	/	/
	貫通部	/	/	/	/	/
制御回路	スペースヒューズ	/	/	/	/	/
	補助リレー	/	/	/	/	/
	表示ランプ	/	/	/	/	/
所見欄	<p>※1 電力監視盤 52F13赤ランプの固定ナット破損の為締め付け出来ず。(H21度より継続)</p> <p>※2 動力監視盤 運転状態表示パネルの亚克力板がひび割れています。(ランプの発熱による)</p> <p>外側表面は問題ありません。</p>					

否は一連番号順に所見欄に記入する。

高 压 幹 線 絶 縁 抵 抗 測 定 表

〈 電 氣 室 〉

回路名	測定範圍	線間(MΩ)			大地間(MΩ)				結果
		R-S	S-T	T-R	RST-括	R	S	T	
①	89-01二次~本線ABB一次(52-01)	2000	2000	2000	/	2000	2000	2000	良
②	89-02二次~本線ABB一次(52-02)	2000	2000	2000	/	2000	2000	2000	良
③	52-01二次~89-01(WR1)一次	2000	2000	2000	/	2000	2000	2000	良
④	52-02二次~89-02(WR2)一次	2000	2000	2000	/	2000	2000	2000	良
⑤	89-01(WR1)、89-02(WR2)二次~89-11一次	2000	2000	2000	/	2000	2000	2000	良
⑥	89-11二次~89-P1、P2、03一次	/	/	/	/	2000	2000	2000	良
⑦	89-P1二次~1号変圧器	/	/	/	2000	/	/	/	良
⑧	89-P2二次~2号変圧器	/	/	/	2000	/	/	/	良
⑨	89-03二次~避雷器	/	/	/	/	2000	2000	2000	良
⑩	低圧母線	/	/	/	/	100	100	100	良

遠方操作試験成績表

* 試験前は各機器状態は「切」であること、表示出力無し(リセット)確認
 * 試験前は27S1, 2, 27B1, 2を復帰させておく

NO	回路名	動作機器	入・切操作	動作	ランプ表示				結果	備考
					現場		中央			
					GL	RL	GL	RL		
1	受電-遮断器(本線)									受電中である為操作は無し
2	受電-遮断器(本線)									受電中である為操作は無し
3	受電-遮断器(予備線)									受電中である為操作は無し
4	受電-遮断器(予備線)									受電中である為操作は無し
5	受電-遮断器(本線)	52-O1	入	切→入		○		○	良	
6			切	入→切	○				良	
7	受電-遮断器(予備線)	52-O2	入	切→入		○		○	良	
8			切	入→切	○				良	
9	MOF1次遮断器	89-11	入	切→入		○		○	良	手動操作(89-P1, P2開き確認)
10			切	入→切	○				良	手動操作(89-P1, P2開き確認)
11	NO. 1主変断路器	89-P1	入	切→入		○		○	良	
12	NO. 1主変NFB	52-S1	入	切→入		○		○	良	89-P1「入」条件
13			切	入→切	○				良	89-P1「入」条件
14	NO. 1主変断路器	89-P1	切	入→切	○			○	良	

充電中につき、操作せず。

* 現場=現場キュービクルランプ
 * 中央=中央監視盤ランプ

遠方操作試験成績表

* 試験前は各機器状態は「切」であること、表示出力無し(リセット)確認
 * 試験前は27S1, 2, 27B1, 2を復帰させておく

NO	回路名	動作機器	入・切操作	動作	ランプ表示				結果	備考
					現場		中央			
					GL	RL	GL	RL		
15	NO. 2主変断路器	89-P2	入	切→入		○		○	良	
16	NO. 2主変NFB	52-S2	入	切→入		○		○	良	89-P2「入」条件
17			切	入→切	○		○		良	89-P2「入」条件
18	NO. 2主変断路器	89-P2	切	入→切	○		○		良	
19	母連NFB	52B	入	切→入		○		○	良	
20			切	入→切	○		○			良
21	発電機連絡NFB	52GB	入							
22			切							
23	冷凍機動力NFB	52F11	入	切→入		○		○	良	
24			切	入→切	○		○			良
25	一般動力A NFB	52F12	入	切→入		○		○	良	
26			切	入→切	○		○			良
27	一般動力B NFB	52F13	入	切→入		○		○	良	
28			切	入→切	○		○			良

* 現場=現場キュービクルランプ
 * 中央=中央監視盤ランプ

遠方操作試験成績表

* 試験前は各機器状態は「切」であること、表示出力無し(リセット)確認
 * 試験前は27S1, 2、27B1, 2を復帰させておく

NO	回路名	動作機器	入・切操作	動作	ランプ表示						結果	備考
					現場		中央		結果	備考		
					GL	RL	GL	RL				
29	一般動力C NFB	52F14	入	切→入		○			○	良		
30			切	入→切	○		○			良		
31	海・保動力 NFB	52F15	入	切→入		○			○	良		
32			切	入→切	○		○			良		
33	屋外プール NFB	52F16	入	切→入		○			○	良		
34			切	入→切	○		○			良		
35	No. 1 SC NFB	52C1	入	切→入		○			○	良		
36			切	入→切	○		○			良		
37	海・保電灯 NFB	52F21	入	切→入		○			○	良	復電時、投入不良。 (シーケンス試験結果は良とする)	
38			切	入→切	○		○			良		
39	屋外レストラン NFB	52F22	入	切→入		○			○	良		
40			切	入→切	○		○			良		
41	一般電灯 NFB	52F23	入	切→入		○			○	良		
42			切	入→切	○		○			良		

* 現場=現場キュービクルランプ
 * 中央=中央監視盤ランプ

遠方操作試験成績表

* 試験前は各機器状態は「切」であること、表示出力無し(リセット)確認
 * 試験前は27S1, 2, 27B1, 2を復帰させておく

NO	回路名	動作機器	入・切操作	動作	ランプ表示						結果	備考
					現場		中央		結果	備考		
					GL	RL	GL	RL				
43	屋外配電灯 NFB	52F24	入	切→入		○			○	良		
44			切	入→切	○					良		
45	所内・非常回路 NFB	52F25	入	切→入		○			○	良		
46			切	入→切	○					良		
47	エレベータ動力 NFB	52F26	入	切→入		○			○	良		
48			切	入→切	○					良		
49	No. 2 SC NFB	52C2	入	切→入		○			○	良		
50			切	入→切	○					良		
51												
52												
53												
54												
55												
56												

* 現場=現場キュービクルランプ
 * 中央=中央監視盤ランプ

シーケンス試験成績表 (保護連動)

NO	回路名	動作遮断器	動作継電器	表示				警報				結果	備考	
				現場		中央		現場		中央				
				BZ	BL	BZ	BL	LP	FL	LP	FL			
1	1号主変圧器 内部故障	5201, 5202, 52S1	96P1	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	01.02電圧確認
2	1号主変圧器 温度上昇	/	26P1	/	/	○	/	○	○	○	○	○	良	
3	2号主変圧器 内部故障	5201, 5202, 52S2	96P2	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	01.02電圧確認
4	2号主変圧器 温度上昇	/	26P2	/	/	○	/	○	○	○	○	○	良	
5	受電用 過電流	52-01, 52-02	51RX	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	01.02電圧確認
6	受電用 地絡過電流	52-01, 52-02	51GRX	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	01.02電圧確認
7	重地絡	52S1, 52S2, 52GB, 5201, 5202(2.8秒後)	51N	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	実トリップ
8	NO. 1主変2次 過電流	52S1, 52GB	51S1	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	
9	NO. 2主変2次 過電流	52S2, 52GB	51S2	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	
10	NO. 1主変2次 不足電圧	52S1	27S1	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	
11	NO. 2主変2次 不足電圧	52S2	27S2	/	○	/	/	○	○	○	○	○	良	

BL=ベル LP=ランプ(表示器)
 BZ=ブザー FL=フリッカー(表示器)
 場所別
 現場=現場に設置されている操作監視盤
 中央=遠方にある操作監視盤
 従って配電盤には含まれません

* No. 1, 3, 5, 6はO1, O2のT1(+)-T11(-)端子間でDC110V電圧確認
 * No. 7はO1, O2実トリップを行う
 * 27S1, 27S2はリレープラグを抜いておく
 * 過電流、地絡過電流は補助リレー動作で確認する
 * CB遮断後は、OFF鈕を押しリセット。その後電力監視盤「表示復帰」ボタンを押す。
 * 扉開表示を復帰させ、CBを投入する

シーケンス試験成績表

(保護連動)

NO	回路名	動作遮断器	動作継電器	表示				警報				備考		
				現場		中央		現場		中央				
				BL	BZ	BL	BZ	LP	FL	LP	FL			
12	NO. 1母線 不足電圧	52C1~52F16	27B1	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
13	NO. 2母線 不足電圧	52C2~52F26	27B2	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
14	NO. 1, 2母線 不足電圧	52B	27B1, 27B2	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	27B1, B2同時動作
15	NO. 1母線 過電圧	52C1	59B1	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
16	NO. 2母線 過電圧	52C2	59B2	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
17	1号母線 微地絡		64V11~V13	/	/	/	/	/	○	/	/	○	良	
18	2号母線 微地絡		64V21~V23	/	/	/	/	/	○	/	/	○	良	
19	冷凍機動力 地絡方向	52F11	67F11	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
20	一般動力A 地絡方向	52F12	67F12	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
21	一般動力B 地絡方向	52F13	67F13	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	
22	一般動力C 地絡方向	52F14	67F14	/	○	/	/	/	○	/	/	○	良	

* 27B1, 27B2はリレープラグを抜いておく

* CB遮断後は、OFF鈕を押しリセットを掛けてからCBを投入する

* 扉開表示を復帰させ、CBを投入する

* 微地絡はリレーを動作させ表示を出す

BL=ベル LP=ランプ(表示器)
 BZ=ブザー FL=フリッカー(表示器)
 場所別
 現場=現場に設置されている操作監視盤
 中央=遠方にある操作監視盤
 従って配電盤には含まれません

シーケンス試験成績表 (保護連動)

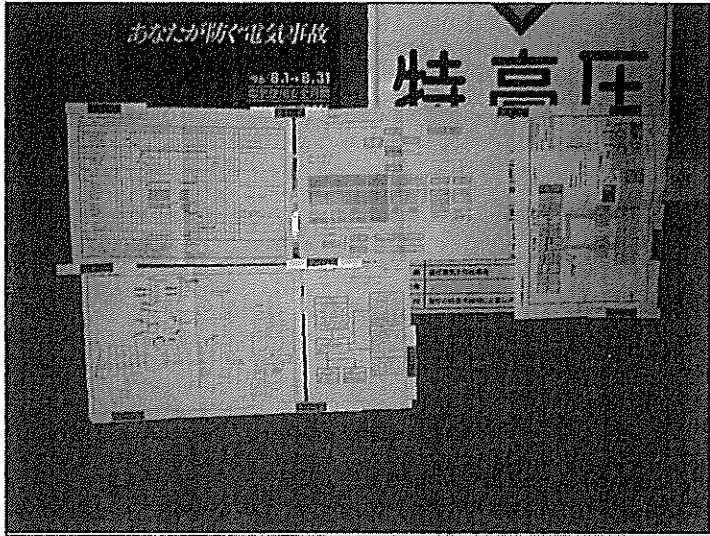
NO	回路名	動作遮断器	動作継電器	表示				警報				備考	
				現場		中央		現場		中央			
				BL	BZ	BL	BZ	LP	FL	LP	FL		
23	海・保動力 地絡方向	52F15	67F15	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
24	屋外プール 地絡方向	52F16	67F16	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
25	海・保電灯 地絡方向	52F21	67F21	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
26	屋外レストラン 地絡方向	52F22	67F22	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
27	一般電灯 地絡方向	52F23	67F23	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
28	屋外配電灯 地絡方向	52F24	67F24	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
29	所内及び非常回路 地絡方向	52F25	67F25	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
30	エレベーター動力 地絡方向	52F26	67F26	/	/	○	/	/	/	○	○	良	
31	Comp故障		49AX, 51	/	/	/	/	/	/	○	○	良	
32	Comp圧力低下		63A3X	/	/	/	/	/	/	○	○	良	
33	キュービクル扉開		ドアSW	/	/	/	/	/	/	○	○	良	
34	受電CBインタローック解除中		43INL	/	/	/	/	/	/	○	○	良	ループ初音用インタローック解除

* CB遮断後は、OFF鈕を押しリセットを掛けてからCBを投入する
 * 扉開表示を復帰させ、CBを投入する

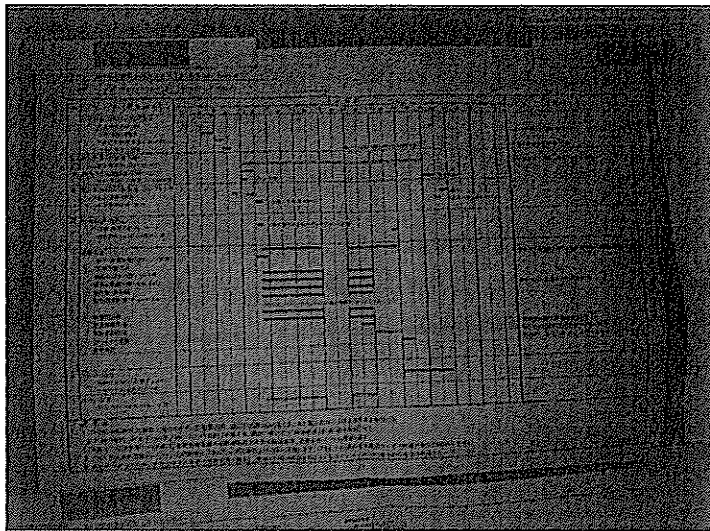
BL=ベル LP=ランプ(表示器)
 BZ=ブザー FL=フリッカー(表示器)
 場所別
 現場=現場に設置されている操作監視盤
 中央=遠方にある操作監視盤
 従って配電盤には含まれません

3-1. 点検写真

3-2. 指摘事項写真



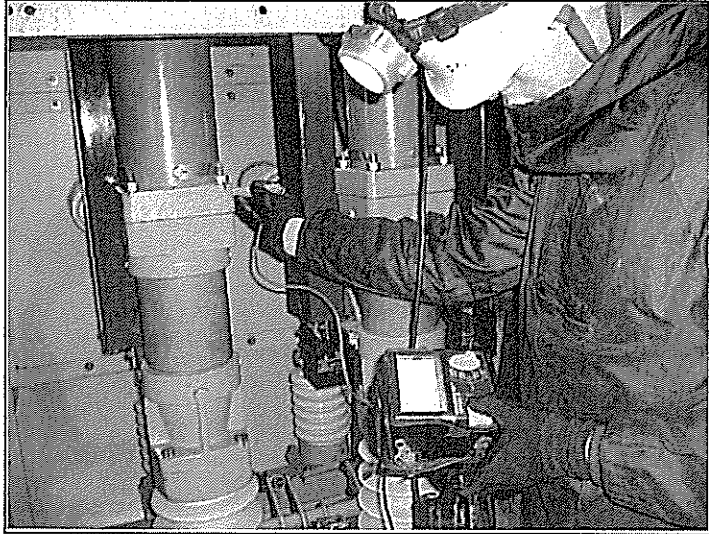
No.	1
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	作業前ミーティング
書類張り出し状況	



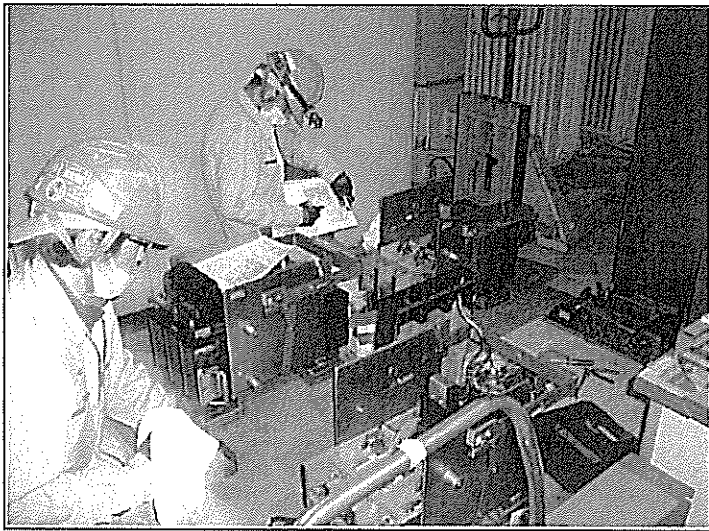
No.	2
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	作業前ミーティング
書類張り出し状況	



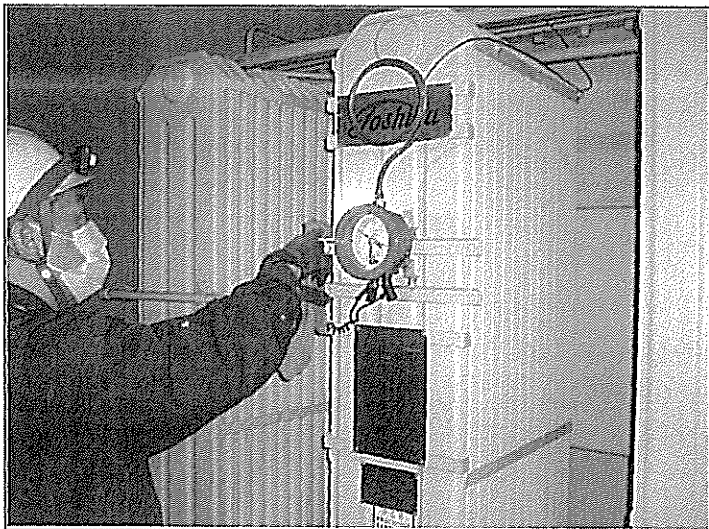
No.	3
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	空気遮断器点検



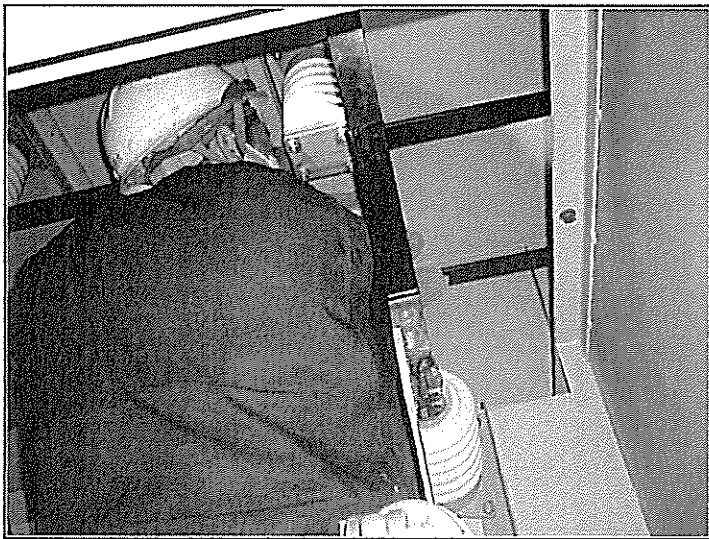
No.	4
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	空気遮断器点検
絶縁抵抗測定	



No.	5
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配電用遮断器点検



No.	6
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	変圧器点検



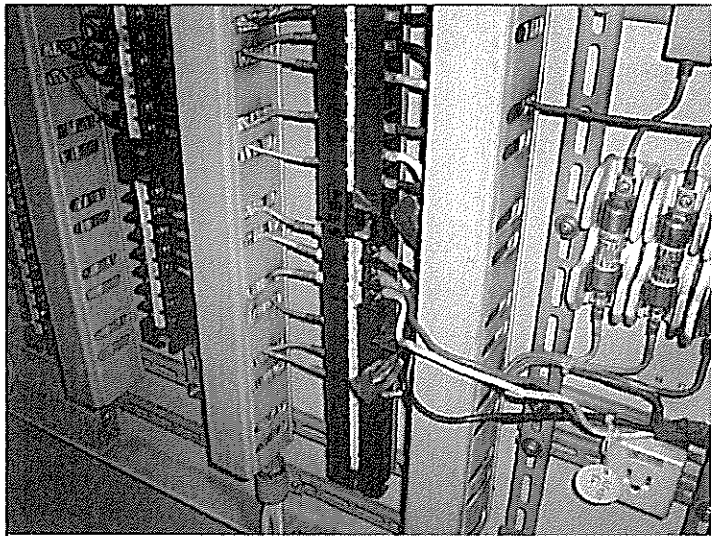
No.	7
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	22kV断路機点検



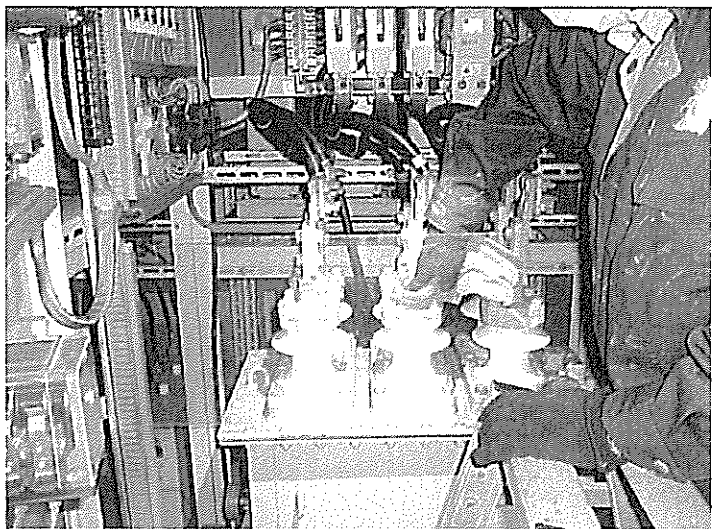
No.	8
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	低圧キュービクル点検



No.	9
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	低圧キュービクル点検
上部清掃	



No.	10
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	空気遮断器点検
コンプレッサー仮設電源入力状況	



No.	11
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	コンデンサ・リアクトル点検
清掃	



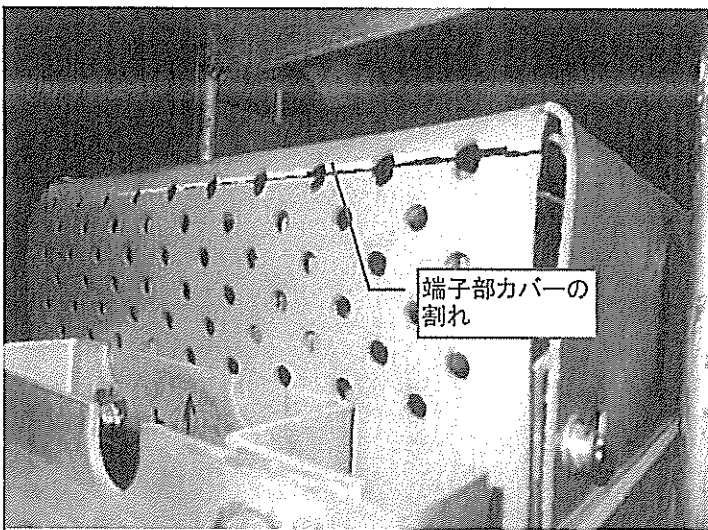
No.	12
船の科学館受電設備点検	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F監視室
対 象	継電器盤点検
裏面清掃	



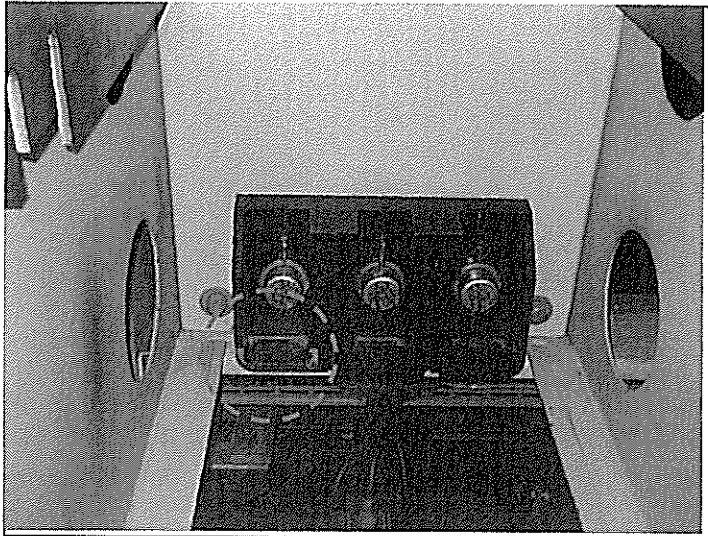
No.	①
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
遮断器の主バネに発錆があります。 (52S1, 52S2, 52B共通)	



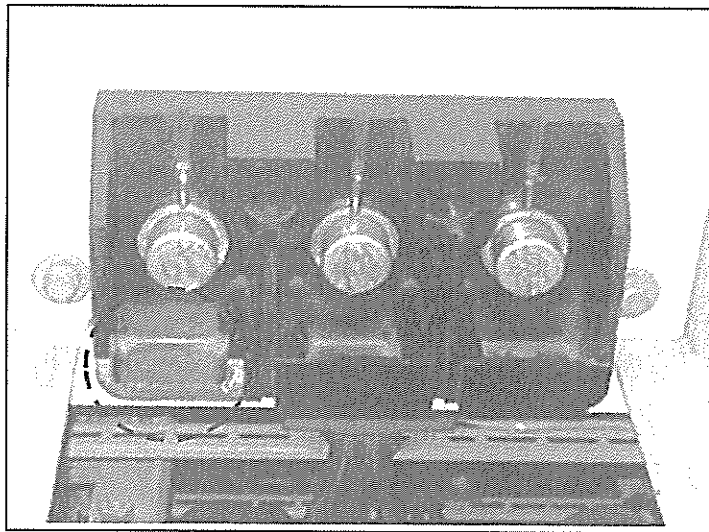
No.	②
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
モールドケースに損傷 (ヒビ、破損)があります。 (52S1, 52B共通)	



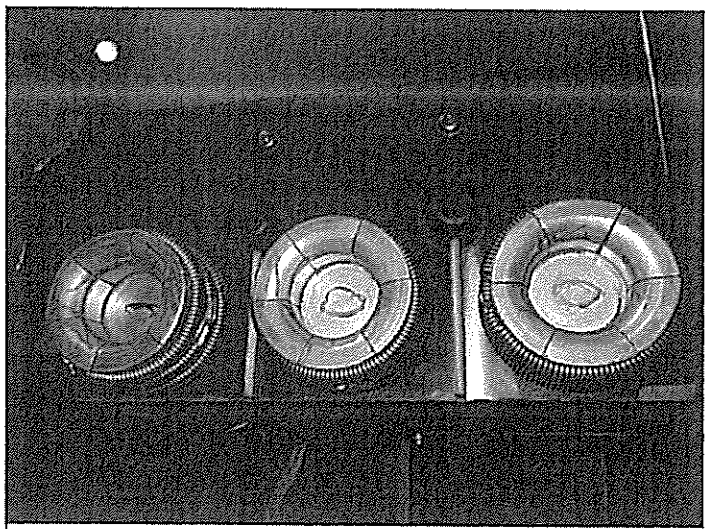
No.	③
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
52F13 一次側端子部カバーが割れています。	



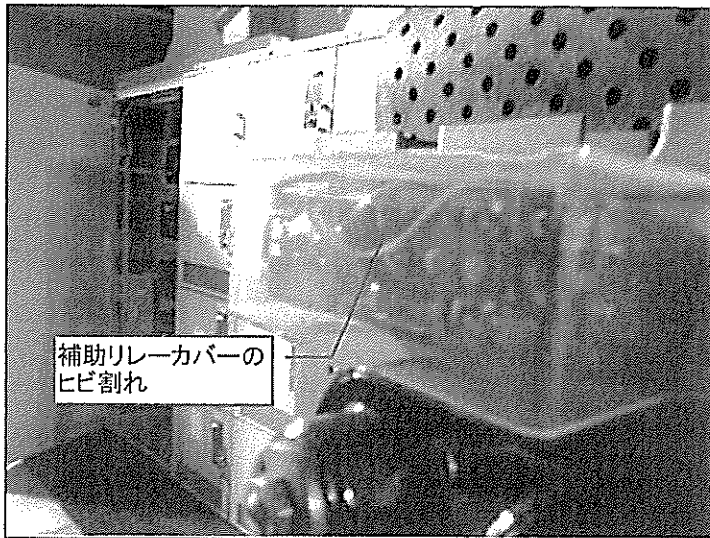
No.	④
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
52F14, 52C1	
固定側、下部左側(黒相)	
コンタクトガイドの破損	



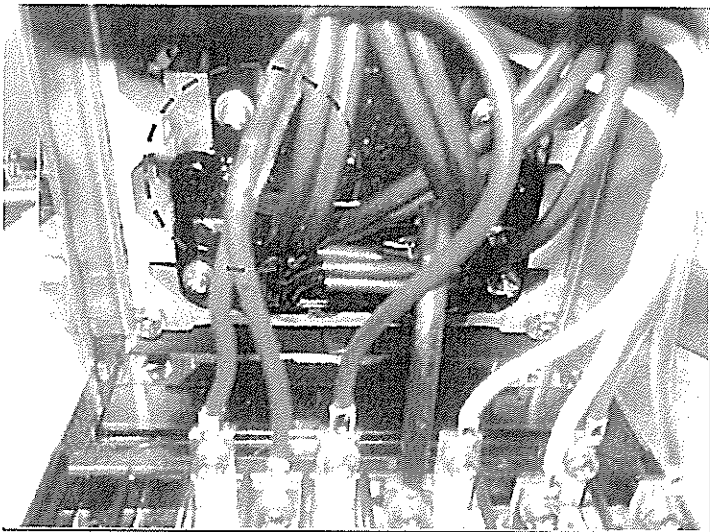
No.	⑤
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
固定側接続部(拡大)	



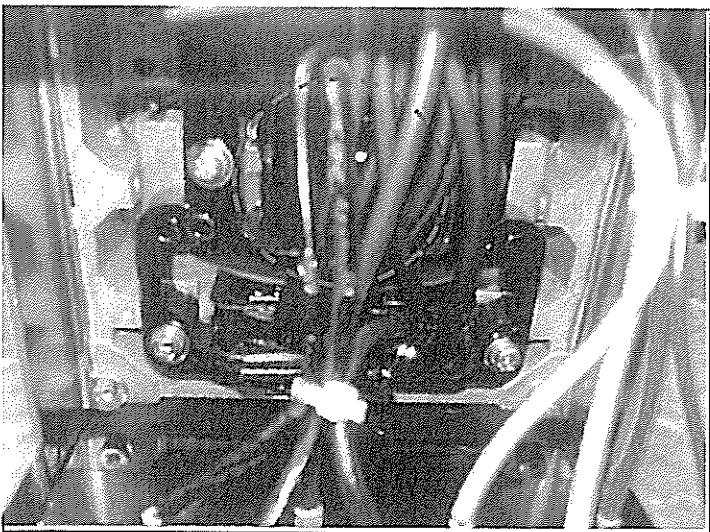
No.	⑥
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
可動側接続部(拡大)	



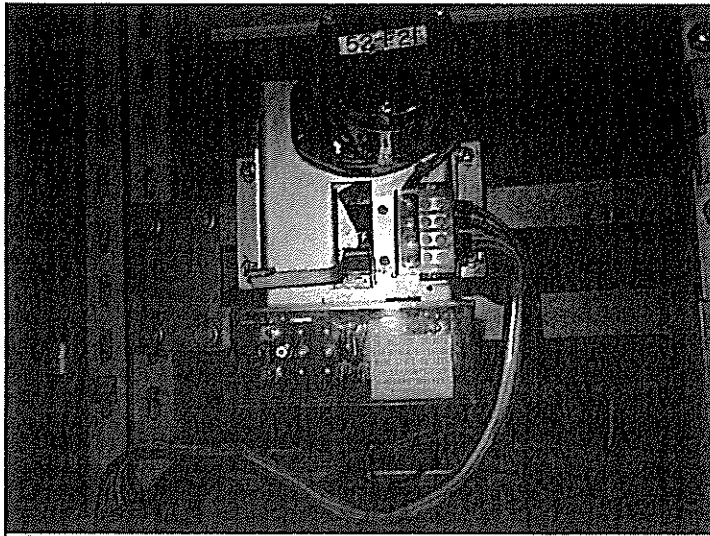
No.	⑦
船の科学館受電設備点検 [指摘事項写真]	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
52F13	
補助リレーカバーにヒビ割れがあります。	



No.	⑧
船の科学館受電設備点検 [指摘事項写真]	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F監視室
対 象	地絡方向継電器
継電器V ₀ 回路のリード線被覆に 剥離がありました。	



No.	⑨
船の科学館受電設備点検 [指摘事項写真]	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F監視室
対 象	地絡方向継電器
継電器V ₀ 回路のリード線被覆に 剥離がありました。	



No.	⑩
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
52F21 復電時、投入不良。	



No.	⑪
船の科学館受電設備点検 〔指摘事項写真〕	
作業月日	平成28年12月26日
場 所	2F電気室
対 象	配線用遮断器
52F21 拡大写真	



No.	
作業月日	
場 所	
対 象	

4. メーカー一点検報告書




御注文主 東京電設サービス株式会社 殿
船の科学館 御用

点 検 報 告 書

M C C B

作業件名 MCCB点検
出張番号 WAA231 0001 01
点検日 2016年12月26日


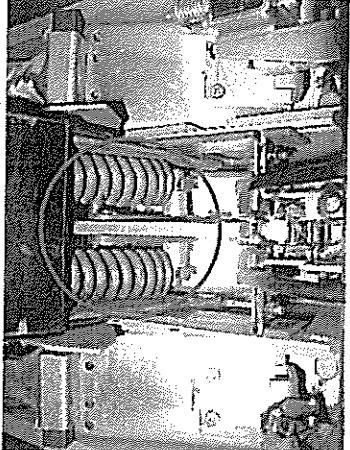
東芝電機サービス株式会社
三重事業所 サービス第二担当

承認	調査	担当
		

点検結果御推奨事項リスト (1 / 1)

設備名 特高受変電設備

点検日 2016年12月26日

対象機器	点検結果	今回の処置	御推奨事項
<p>電動MCCB Dev. 52S1 型式・定格:S2000-3P-2000A (付属品:A, S, V, E, D) (2014年点検時に報告済み)</p>	<p>①点検導入時のテストトリップ動作不良が見られました。 機構部グリスの硬化・枯涸によるトリップ機構の摺動不良と判断します。 ②モールドケース内部に割れが見られました。(S相割れ・T相亀裂) 現状、絶縁抵抗値ほか影響は見られませんでしたが、夏期の高温・多湿時など日常監視の強化をお願い致します。 ①モールドケース内部に亀裂が見られました。(各相、若干の亀裂)</p>	<p>①内部機構の該当部に注油し、若干の改善は見られます。 *但し、構造上、機構部の硬化グリスの取り扱いは不可。 ②未処置 破片が大きいくケース取り出し不可。 (混入の恐れなしとして未処置)</p>  <p>① 処置</p>	<p>現状の動作確認は実施致しましたが、左記の記載事項は何れも点検・手入れによる現状以上の改善は望めません。 下記観点から早急に機器更新の御計画を検討して頂くと共にそれまでの間については点検周期の短縮も含め、継続して定期的に点検を実施して頂く様、ご推奨致します。 ① 本電機工業会の定める更新推奨時期は約15年となっており、製品寿命上の摩耗故障障期に入っていると思われまします。(MCCBは非修理系の機器であり、繰返し修理を実施しながら使用していく機器ではありません。) ② 今回、点検を実施致しました機器については既に廃形となっており入手不可または困難であり、突発的な不具合などに対応が難しくなる場合があります。(現行品との外形・取付法の互換性がなく、停電時間の長期化が懸念されます。)</p>
<p>電動MCCB Dev. 52B 型式・定格:S2000-3P-2000A (付属品:A, S, V, E, D) (2014年点検時に報告済み)</p>	<p>①主バネに発錆が見られました。劣化が進行すると2014年3月の臨時点検時に確認された様に折損も懸念されます。</p>	<p>未処置 (各部注油は実施) 写真は52S1 (他も同様です。)</p> 	

MCCB 点検対象・結果一覧表

(1 / 1)

設置場所No.	回路名称 Dev.No.	形式・定格	付属品	製造年月	点検 レベル	開閉 回数	絶縁抵抗値[MΩ]			端子間抵抗 値[μΩ]	結果
							温度	湿度	38 [%]		
1	主変二次No. 1 52S1	S2000 -3P- 2000A 磨形	A S	不明 1972年と 推定します	普通	1523	R-E: 1000	R-S: 1000	R-N: -	R相: -	B
			D V (DC100V)				S-E: 1000	S-T: 1000	S-N: -	S相: -	
			E (DC100V)				T-E: 1000	T-R: 1000	T-N: -	T相: -	
2	主変二次No. 2 52S2	S2000 -3P- 2000A 磨形	A S	不明 1972年と 推定します	普通	622	R-E: 1000	R-S: 1000	R-N: -	R相: -	B
			D V (DC100V)				S-E: 1000	S-T: 1000	S-N: -	S相: -	
			E (DC100V)				T-E: 1000	T-R: 1000	T-N: -	T相: -	
3	母線連絡 52B	S2000 -3P- 2000A 磨形	A S	不明 1972年と 推定します	普通	616	R-E: 1000	R-S: 1000	R-N: -	R相: -	B
			D V (DC100V)				S-E: 1000	S-T: 1000	S-N: -	S相: -	
			E (DC100V)				T-E: 1000	T-R: 1000	T-N: -	T相: -	
4		—以下余白—					R-E: -	R-S: -	R-N: -	R相: -	
							S-E: -	S-T: -	S-N: -	S相: -	
							T-E: -	T-R: -	T-N: -	T相: -	
							N-E: -	-	-	N相: -	
5							R-E: -	R-S: -	R-N: -	R相: -	
							S-E: -	S-T: -	S-N: -	S相: -	
							T-E: -	T-R: -	T-N: -	T相: -	
							N-E: -	-	-	N相: -	

<記事>

- ① 付属品記号説明 A: 補助接点 S: 警報接点 V: 電圧引外し装置 L: 不足電圧引外し装置
B: 裏面端子 D: 引出形 E: 電動操作装置 W: 内部付属品用端子台
- ② 点検結果記号説明 A: 良好(異常なし) B: 不良(現状が良いが次回補修を要する) C: 不具合2(今回は応急処置・直ちに補修を要する)
- ③ 形式・定格欄の下段に「磨形」の記載あるものについては既に製造中止となっております。

*結果欄:記号B(次回補修要)とさせて頂いておりましたが、「補修」の為には機器更新が必要となります。

MCCB点検チェックシート

客先名	船の科学館	形 式	S2000-3P	点検日	2016年12月26日
設備名	特高受変電設備	定 格	2000A	点検者	須賀(啓)、須賀(俊)
ユニットNo. (Dev.No.)		ロット番号	本 体 : (年製) 電動操作機構 : (年製)		
用途名		付 属 品 (操作電圧)	A, S, L, V (AC/DC: V) B, W, D, E (AC/DC: V)		

分類	点 検 項 目	点 検 項 目		
		外 観	普 通	細 密
一般点検	1 塵埃の有無		○	
	2 モールドケースに亀裂・変色・破損はないか		×	
	3 端子に異常はないか(緩み・変色)		○	
	4 開閉操作に異常はないか(ON・OFF・RESET)		○	
電動操作機構	1 ストロークに異常はないか(ON・OFF・RESET)		○	
	2 ネジの緩み・はんだ付・Eリングは良いか	—	○	
	3 モーターのブラシのキャップに異常はないか(緩みなど)	—	○	
	4 リンクに異常(摩擦)はないか	—	○	
	5 モーターに油漏れはないか	—	○	
	6 リレーの接触子に異常はないか・クリーナによる清掃実施	—	○	
	7 リミットスイッチの切替は良いか	—	○	
	8 コンデンサに異常はないか(DCのみ)	—	○	
	9 ブレーキのギャップに異常はないか	—	○	
	10 潤滑油の状態は良いか	—	○	
本 体	1 通電部に異常(変色・異物など)はないか *引出形の断路部は特に注意	—	○	
	2 接触子に異常(偏摩耗・変色など)はないか	—	○	
	3 可動部に異常はないか・潤滑油の状態は良いか	—	○	
	4 主キャッチの掛かりに異常はないか	—	○	
	5 消弧装置に異常(アーク痕など)はないか・クリーナによる清掃実施	—	○	
	6 トリップ標・インスタントアマチュアを押してトリップできるか	—	○	
	7 接触子のワイブは良いか	—	—	
	8 接触子の接触圧力に異常はないか (実測値を下記へ記入)	—	—	
	9 トリップ力に異常はないか (測定値: [N])	—	—	
	10 端子間抵抗は基準値以下か (実測値を下記へ記入)	—	—	
	11 主回路絶縁抵抗は基準値以上か (実測値を下記へ記入)	—	○	
	12 各種特性は判定値以内か (電子式のみ・別紙記録表へ記入)	—	—	
付 属 品	1 警報スイッチの動作に異常はないか		○	
	2 補助スイッチの動作に異常はないか		○	
	3 電圧引き外し装置の動作に異常はないか(機械的確認のみ・電気試験実施)		○	
	4 不足電圧引き外し装置の動作に異常はないか(機械的確認のみ・電気試験実施)		—	
部 品	1 部品・ネジに異常はないか		—	
最終点検	1 ネジの締付け・配線に異常はないか(本体ケースへの噛込みはないか)		○	
	2 電動操作機構の動作確認(ON・OFF・RESETの停止位置確認)		○	
	3 断路部への異物の混入・付着はないか→確認後、グリス塗布(引出形のみ)		○	

チェック方法... 良:○ 不良:×

点検結果

A:良好 (異常なし)
B:不具合1 (現状はよいが次回補修を要する)
C:不具合2 (今回は応急処置・ただちに補修を要する)

備 考 (点検結果詳細 等)

今回の点検では本チェックシート○印の項目について確認を実施致しました。

<作業前状態> ON・OFF 接続・断路

絶縁抵抗値 [MΩ]		接 続		断 路	
R-E	—	R-S	—	R-N	—
S-E	—	S-T	—	S-N	—
T-E	—	T-R	—	T-N	—
N-E	—	温度	— °C	湿度	— %

	R	S	T	N
端子間抵抗	—	—	—	—
(清掃前) [μΩ]	—	—	—	—
(清掃後) [μΩ]	—	—	—	—
ワイブ [mm]	—	—	—	—
接触圧力 [N]	—	—	—	—

定期検査 平成28年12月26日 月曜日

天候 晴 温度18℃ 湿度71%

自家用電気工作物試験成績表

施設名称 船の科学館

施設場所 東京都品川区東八潮3番1号

施設者 公益財団法人 日本海事科学振興財団

業種 展示場

受電電力 500kW

受電電圧 22,000V

主任技術者 川久保 学

測定者 (株) きんでん

電気工作物検査官		施設者	船の科学館 総務部長 六谷 真市
消 防 署			
東 京 電 力			

接 地 抵 抗 測 定 試 験

設置場所 電 氣 室

種 別	用 途	試験名	抵抗値 (Ω)	結 果	種 別	用 途	試験名	抵抗値 (Ω)	結 果
A 種	高 圧 機 器 用 避 雷 器 用	定 期	3.02	良	D 種	低 圧 機 器 用	定 期	3.92	良
		定 期					定 期		
A 種		定 期			B 種		定 期		
		定 期					定 期		
A 種		定 期			B 種		定 期		
		定 期					定 期		
A 種		定 期			C 種	400V機器用	定 期	3.10	良
		定 期					定 期		
A 種		定 期			C 種		定 期		
		定 期					定 期		
B 種	変 圧 器 二 次 (中 性 点) 用	定 期	3.77	良	補 助 極	P	定 期	20.9	-
		定 期					定 期		
B 種		定 期			補 助 極	C	定 期	75.1	-
		定 期					定 期		

電力会社 B種 接地抵抗許容値 (5.0) Ω

接 地 抵 抗 測 定 試 験

設置場所 発 電 機 室

種 別	用 途	試験名	抵抗値 (Ω)	結 果	種 別	用 途	試験名	抵抗値 (Ω)	結 果
A 種	本 館 避 雷 針 (補助なし)	定 期	3.19	良	B 種		定 期		
		定 期					定 期		
A 種	燈 台 針 (補助なし)	定 期	0.98	良	B 種		定 期		
		定 期					定 期		
A 種		定 期			B 種		定 期		
		定 期					定 期		
A 種		定 期			C 種	発 電 機	定 期	0.24	良
		定 期					定 期		
A 種		定 期			C 種		定 期		
		定 期					定 期		
B 種		定 期			補 助 極		定 期		
		定 期					定 期		
B 種		定 期			補 助 極		定 期		
		定 期					定 期		

電力会社 B種 接地抵抗許容値 () Ω

低圧幹線絶縁抵抗測定

分岐NFBNo.1 125Vメガー

上段：分電盤開放前
下段：分電盤開放後

※ 1MΩ以下は負荷側分電盤主幹開放にて測定

番 号	測 定 範 囲	絶 縁 抵 抗 [MΩ]										結 果	
		R-大地	S-大地	T-大地	N-大地	R-S	S-T	T-R	R-N	S-N	T-N		
1	1L-3, 2L-3	開放前	6	6	6	6							良
		開放後											
2	共同溝電灯 (プランチャ)	開放前	20	20	20	20							良
		開放後											
3	1L-4, 1L-5, P-3	開放前	8	8	8	4							良
		開放後											
4	マリンホール照明、4L-2 電源	開放前	5	5	5	5							良
		開放後											
5	5L-1, 6L-1, PL-1, P-6	開放前	20	20	20	20							良
		開放後											
6	3L-1, 4L-1, 4L-2, P-9 (マリンショップ外部)	開放前	0.15	0.15	0.15	0.15	開放回路名 4L-1 警報盤						要注意
		開放後	20	20	20	20	開放回路名 3L-1 ELB盤 3L-1'						
7	1L-1, 2L-1, P-5, P-8	開放前	1	1	1	1							良
		開放後											
8	1L-1 玄関, ホール電灯	開放前	2	2	2	2							良
		開放後											
9	予備	開放前	-	-	-	-							-
		開放後											
		開放前											
		開放後											

低圧幹線絶縁抵抗測定

所内変圧器 125Vメガー

上段：分電盤開放前
下段：分電盤開放後

※ 1MΩ以下は負荷側分電盤主幹開放にて測定

番 号	測 定 範 囲	絶 縁 抵 抗 [MΩ]										結 果						
		R-大地	S-大地	T-大地	N-大地	R-S	S-T	T-R	R-N	S-N	T-N							
10	主開閉器1次	開放前	20	20	20	-							良					
		開放後																
11	主開閉器2次	開放前	20	20	20	-							良					
		開放後																
12	所内照明	開放前	20	20	20	20							良					
		開放後																
13	消防非常コンセント 100V	開放前	20	20	20	20							良					
		開放後																
14	1L-3, 2L-3	開放前	0.3	0.3	0.3	0.3							要注意					
		開放後	20	20	20	20	開放回路名 1L-3 (IF機械室内), 2L-3 E L B 盤 (喫煙所付近)											
15	冷凍機操作	開放前	-	-	-	-							-					
		開放後																
16	コンプレッサー	開放前	20	20	20	-							良					
		開放後																
17	L-G-B No.1	開放前	20	-	-	20	N相KS (1L-3, 2L-3用) 1次側の為、離線して測定する。					良						
		開放後																
18	L-G-B No.2	開放前	-	20	-	20						N相KS (1L-3, 2L-3用) 1次側の為、離線して測定する。					良	
		開放後																
19	消防非常コンセント 200V 整流器電源	開放前	20	20	20	-												良
		開放後																

低圧幹線絶縁抵抗測定

分岐NFBNo.3 125Vメガー

上段：分電盤開放前
下段：分電盤開放後

※ 1MΩ以下は負荷側分電盤主幹開放にて測定

番 号	測 定 範 囲		絶 縁 抵 抗 [MΩ]									結 果
			R-大地	S-大地	T-大地	N-大地	R-S	S-T	T-R	R-N	S-N	
20	船首配電盤	開放前	20	20	20	0.15	開放回路名 船首にある名称のない盤					要注意
		開放後	20	20	20	20						
21	展望塔電灯	開放前	20	20	20	20						良
		開放後	20	20	20	20						
22	外壁照明配電塔 小糸盤(ゴトウ)電源	開放前	20	20	20	0.1	負荷側分電盤追跡結果 主幹開放にて					要注意
		開放後	20	20	20	20						
23	駐車場配電棟	開放前	15	15	15	15						良
		開放後										
24	宗谷キュービクル	開放前	20	20	20	20						良
		開放後										
25	1L-2, P-1	開放前	20	20	20	0.5						要注意
		開放後	20	20	20	20	1L-ELB盤(1-21)(1-27)					
26	2L-2, P-3	開放前	20	20	20	0.03						不良
		開放後	20	20	20	20	開放回路名 2L-2 二階床分電盤					
27	エレベーター	開放前	20	20	20	-						良
		開放後										
28	3L-2, P-4	開放前	2	2	2	2						良
		開放後										
		開放前										
		開放後										

低圧幹線絶縁抵抗測定

分岐NFBNo.3 125Vメガー

上段：分電盤開放前
下段：分電盤開放後

※ 1MΩ以下は負荷側分電盤主幹開放にて測定

番 号	測 定 範 囲	絶 縁 抵 抗 [MΩ]										結 果	
		R-大地	S-大地	T-大地	N-大地	R-S	S-T	T-R	R-N	S-N	T-N		
29	マリンショップ	開放前	20	20	20	20	絶縁低下による追跡の場合 開放回路名 0-61						良
		開放後											
30	4F排煙機	開放前	20	20	20	-							良
		開放後											
31	消火栓ポンプ	開放前	20	20	20	-							良
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											

低圧幹線絶縁抵抗測定

分岐NFBNo.2

上段：分電盤開放前
下段：分電盤開放後

※ 1MΩ以下は負荷側分電盤主幹開放にて測定

番 号	測 定 範 囲	絶 縁 抵 抗 [MΩ]										結 果	
		R-大地	S-大地	T-大地	N-大地	R-S	S-T	T-R	R-N	S-N	T-N		
32	CP-1 (予備)	開放前	-	-	-	-							-
		開放後											
33	CP-4	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
34	マリホール空調, 5Fパッケージ	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
35	CP-1'	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
36	CP-6	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
37	CP-6'	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
38	ビルマル主電源	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
39	CP-2冷水ポンプ系	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
40	CP-2温水ポンプ系	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
		開放前											
		開放後											

分岐NFB No.3

低圧幹線絶縁抵抗測定

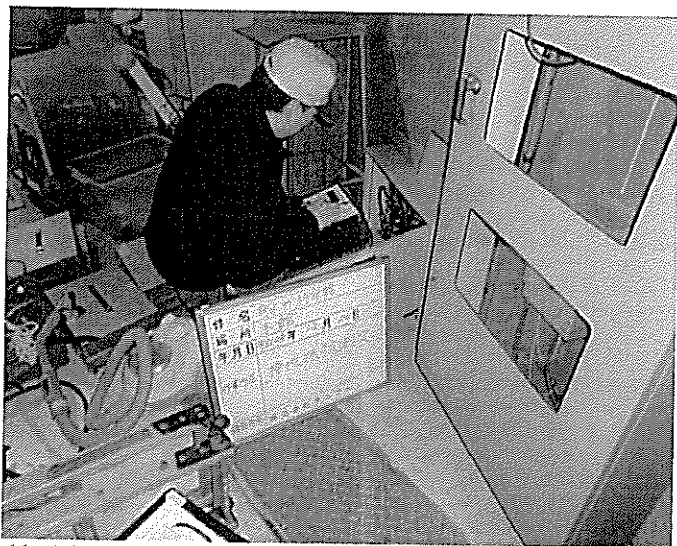
上段：分電盤開放前
下段：分電盤開放後

※ 1MΩ以下は負荷側分電盤主幹開放にて測定

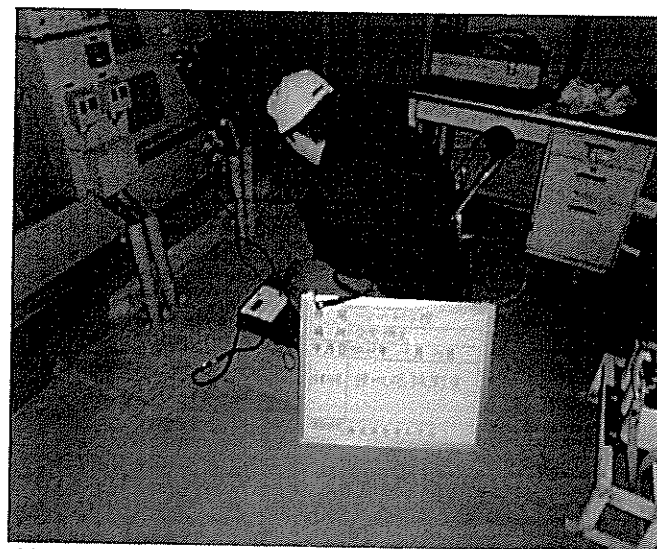
番 号	測 定 範 囲	絶 縁 抵 抗 [MΩ]										結 果	
		R-大地	S-大地	T-大地	N-大地	R-S	S-T	T-R	R-N	S-N	T-N		
4 1	噴水設備電源 (予備)	開放前	-	-	-	-							-
		開放後											
4 2	CP-3	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
4 3	共同溝動力 (TP-1)	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
4 4	CP-5	開放前	100	100	100	-							良
		開放後											
4 5	屋外プール	開放前	8	8	8	-							良
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											
		開放前											
		開放後											

点検手入及び各種試験の結果

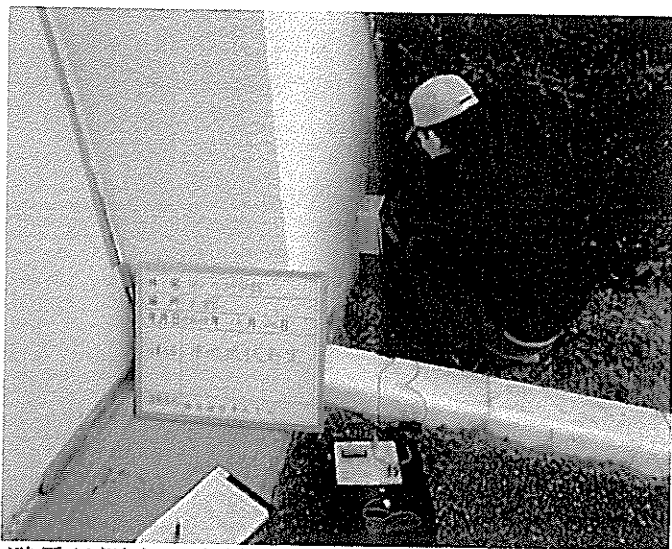
電気工作物	結 果	電気工作物	結 果
<p>接地抵抗測定</p> <p>低圧幹線メガー測定</p>	<p>良好です。</p> <p>全て良好です。</p> <p>負荷側不良回路</p> <p>分岐NFBNo.3 ・ 2L-2, P-3 N相大地間 0.03MΩ で不良です。</p> <p>以上1回路が不良です。</p> <p>負荷側要注意回路(1MΩ以下)</p> <p>分岐NFBNo.1 ・ 3L-1, 4L-1, 4L-2, P-9 (マリンショップ 外部) R. S. T. N相大地間 0.15MΩ で要注意です。</p> <p>所内変圧器 ・ 1L-3, 2L-3 R. S. T. N相大地間 0.3MΩ で要注意です。</p>	<p>分岐NFBNo.3 ・ 船首配電盤 N相大地間 0.15MΩ で要注意です。</p> <p>分岐NFBNo.3 ・ 外壁照明配電塔小糸盤 (コ'ント'ラ) 電源 N相大地間 0.1MΩ で要注意です。</p> <p>分岐NFBNo.3 ・ 1L-2, P-1 N相大地間0.5MΩ で要注意です。</p> <p>以上5回路が要注意です。</p>	



接地抵抗測定 本館



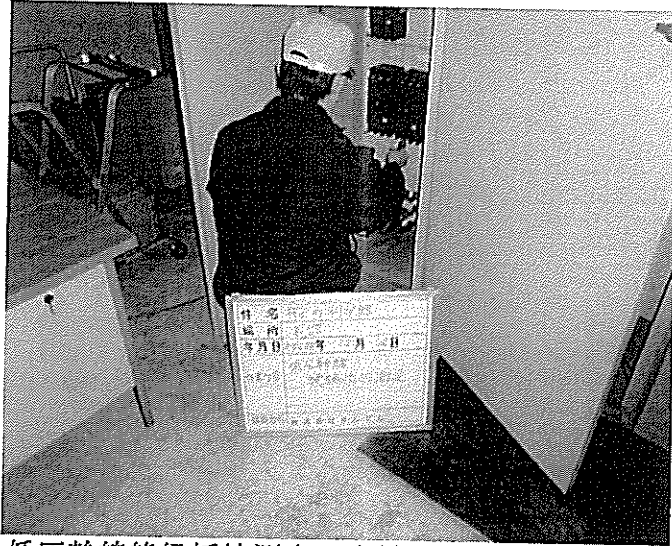
接地抵抗測定 発電機室



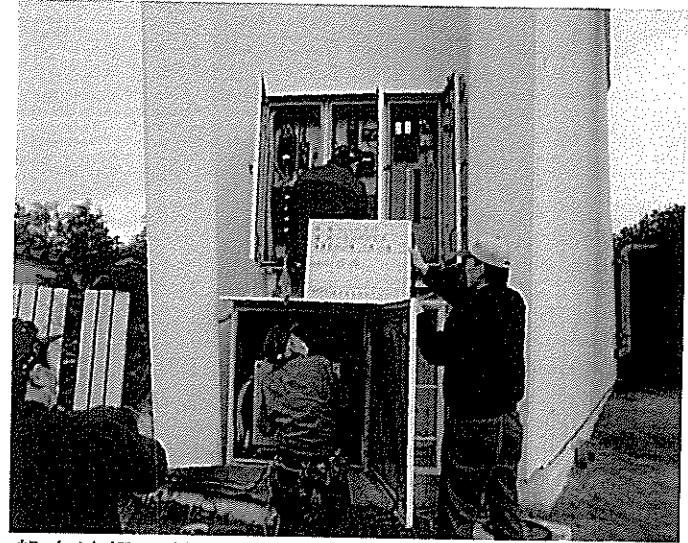
避雷針測定 本館屋外



避雷針測定 燈台

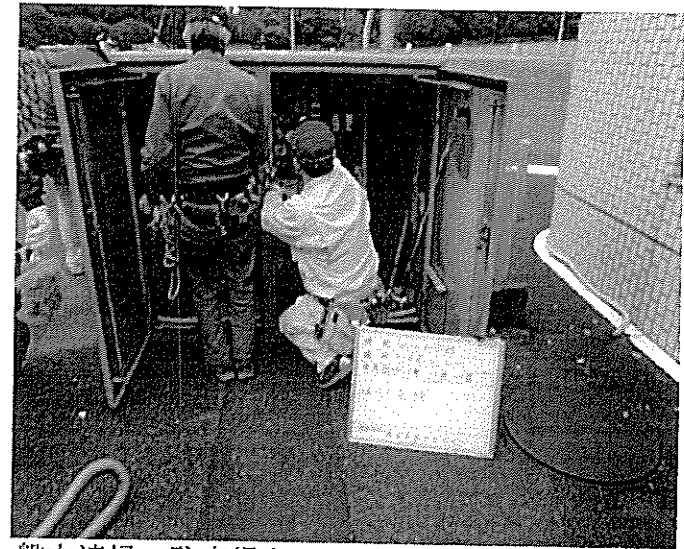


低圧幹線絶縁抵抗測定 本館



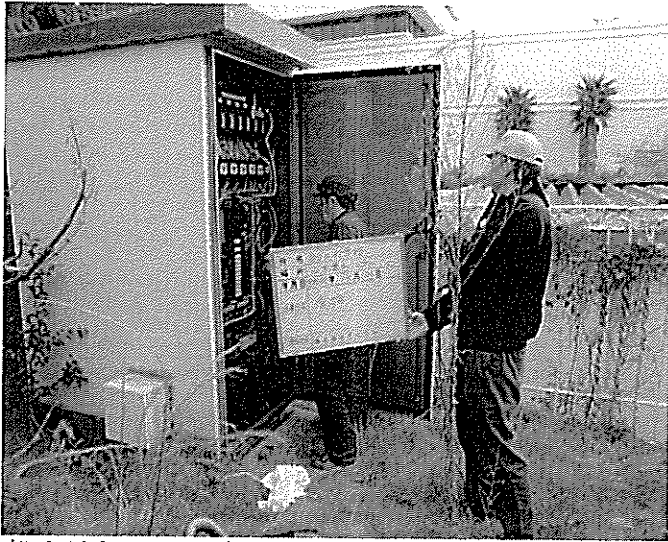
盤内清掃 外壁照明配電塔

新設設備により、実施せず。

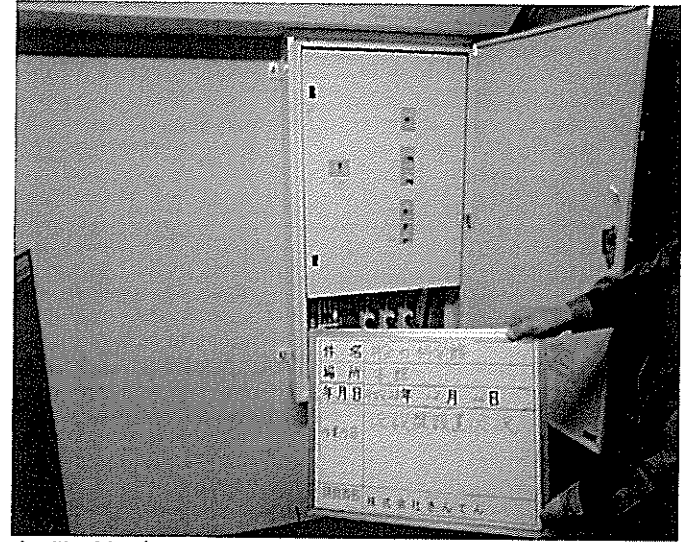


盤内清掃 駐車場キュービクル

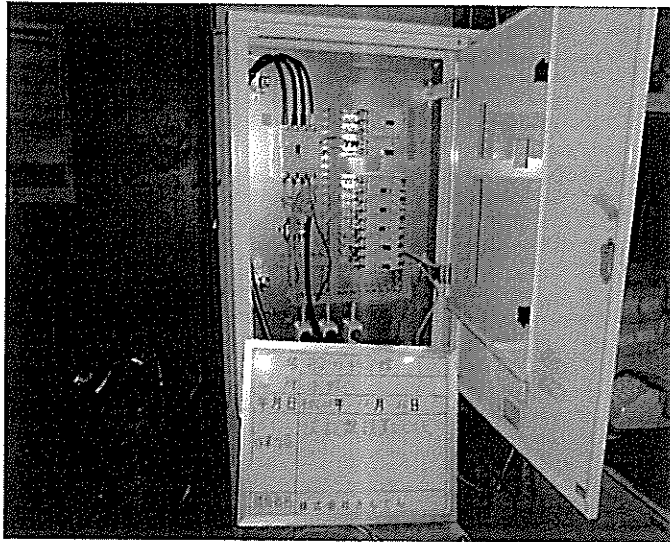
盤内清掃 宗谷キュービクル



盤内清掃 小糸盤キュービクル



仮設電源盤設置状況



仮設電源盤設置状況



発電機設置状況